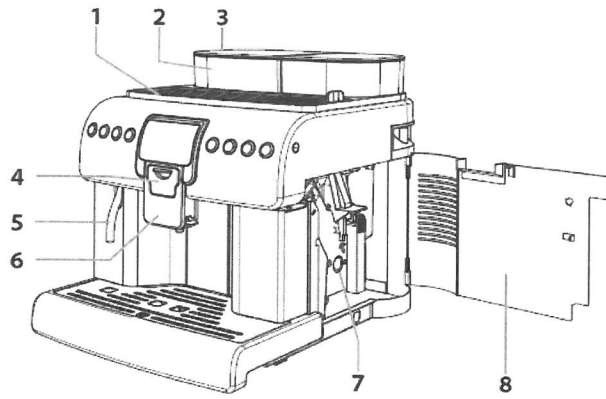


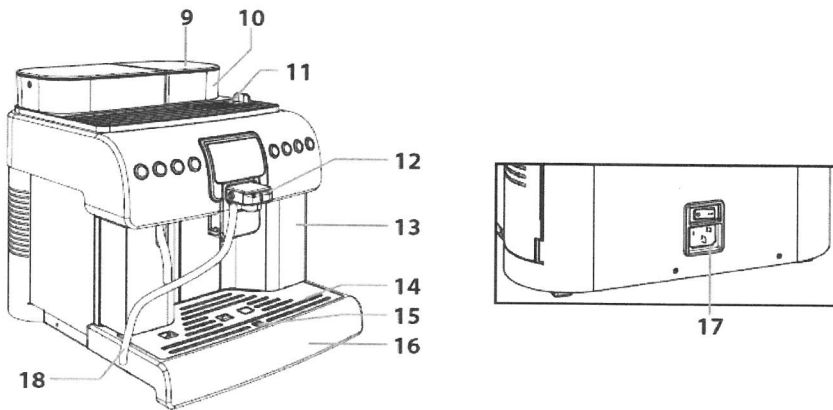
au-Lika Focus

Type SUP040

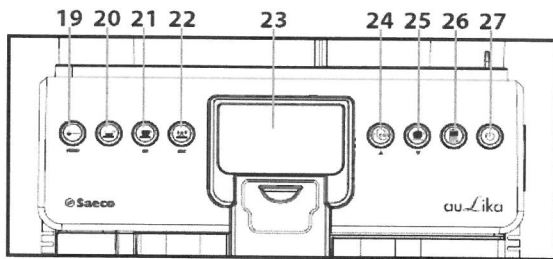




- 1 カップウォーマー
- 2 水タンク
- 3 水タンク蓋
- 4 カプチナトーレカバー
- 5 給湯ノズル
- 6 コーヒー抽出口
- 7 ブレーイングユニット
- 8 サービスドア



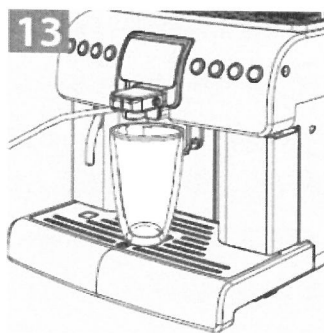
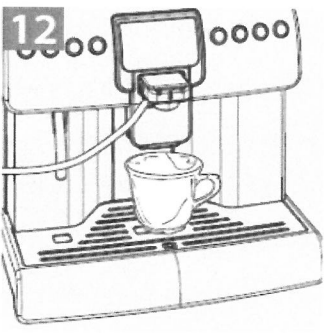
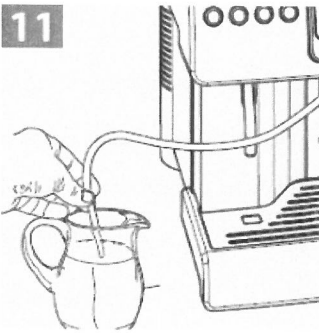
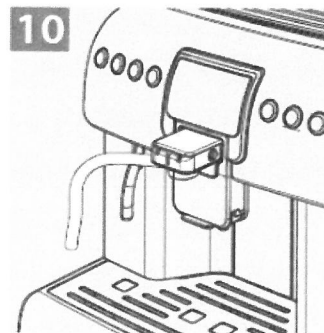
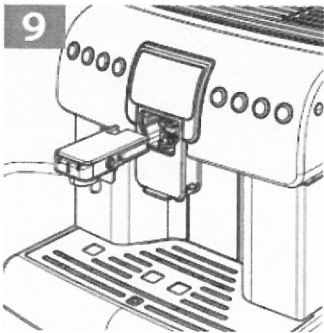
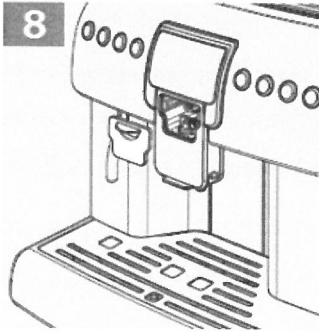
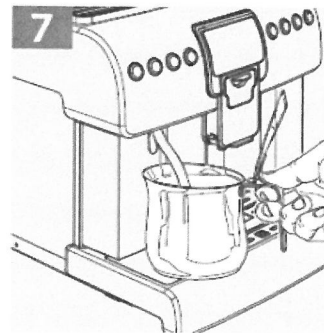
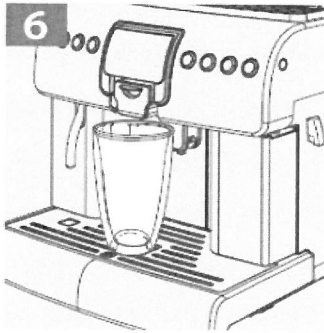
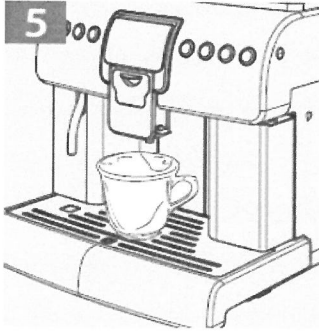
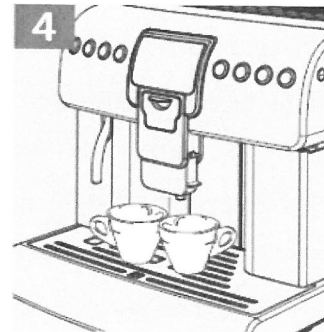
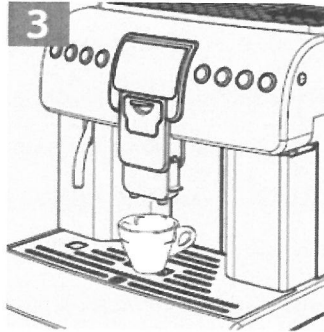
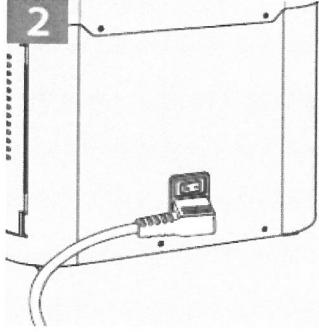
- 9 豆容器カバー
- 10 豆容器
- 11 粉コーヒー投入口
- 12 カプチナトーレ
- 13 コーヒーカス容器
- 14 目皿
- 15 フロート
- 16 ドリップトレイ
- 17 電源コード差し込み口



- 18 ミルクチューブ
- 19 粉コーヒー選択ボタン
- 20 エスプレッソボタン

• 2 •

- 21 コーヒーボタン
- 22 スペシャルコーヒーボタン
- 23 ディスプレイ
- 24 カプチナトーレクリーニングボタン
- 25 カプチーノボタン
- 26 ラテマキアートボタン
- 27 スタンバイボタン



1. 各部の名称
2. 注意事項と警告
 - 2.1 仕様
 - 2.2 危険性について
 - 2.3 コントロールパネルについて
3. ご使用前に
 - 3.1 水タンクへの水の補給
 - 3.2 コーヒー豆の補充
 - 3.3 マシンの電源を入れる
 - 3.4 ウォームアップとリンス作業
 - 3.5 リンス/セルフクリーニングサイクル
 - 3.6 節電機能
 - 3.7 抽出口高さの調整
 - 3.8 コーヒーの抽出
 - 3.8.1 粉コーヒー抽出
 - 3.9 コーヒーカスを捨てる
 - 3.10 カプチーノの抽出
 - 3.11 ラテマキアート
 - 3.12 SPECIAL飲料
5. クリーニングとメンテナンス
 - 5.1 給湯口/スチームワンドのクリーニング
 - 5.2 カス容器のクリーニング
 - 5.3 ドリップトレイのクリーニング
 - 5.4 カプチナトーレのクリーニング
 - 5.5 水タンクのクリーニング
 - 5.6 ブルーイングユニットのクリーニング
6. ヘルプメッセージ
ヘルプメッセージとリセット方法
7. 設置作業
 - 7.1 設置に関して
 - 7.2 梱包物の廃棄
 - 7.3 水タンクへの水の補充
 - 7.4 コーヒー豆の補充
 - 7.5 電源コードの接続
 - 7.6 初めてのご使用又は長期間未使用時
 - 7.7 インテンザの取付
 - 7.8 グランダーの調整
 - 7.9 コーヒー粉量の調整
 - 7.10 コーヒー量の調整
 - 7.10.1 プログラムでの調整
 - 7.10.2 目視での調整
 - 7.11 プログラミング
 - 7.12 ビバレッジメニュー
 - 7.13 メニュー設定
8. アクセサリー関連
 - 8.1.1 同梱品リスト
 - 8.1.2 オプション品アクセサリー
9. クリーニングとメンテナンス
 - 9.1 メンテナンススケジュール
 - 9.2 カプチナトーレの自動洗浄プログラム
 - 9.3 ブルーイングユニットの自動洗浄プログラム
 - 9.4 ブルーイングユニットのグリスアップ
10. マシンの廃棄について
11. トラブルシューティング

1. 一般事項

1.1 このマシンについて

1. コーヒーもしくはエスプレッソをコーヒー豆を使用して抽出します。
2. コーヒー抽出はお湯を使用し、スチーム/給湯パイプを利用します。

以下に記載した原因による、損傷には責任を負いかねます。

- ・ 本来の目的に反する間違った使用による場合
 - ・ 修理が弊社指定のサービスセンターで行われなかった場合
 - ・ 電源コードを改ざんされた場合
 - ・ マシンのどこかを改ざんされた場合
 - ・ 純正ではない部品や付属部品を使用された場合
 - ・ 除石灰作業を行わなかった場合やマシンを摂氏0度以下での環境での使用、もしくは保管された場合
 - ・ 屋外での使用
- これらの場合、保証は無効となりますので、あらかじめご了承下さい。



使用者の安全の為に、警告および注意表示は全ての重要な注意点を示しています。大きな傷害事故を避けるため、これらの注意書きをしっかりと守ってください。

1.2 本取扱説明書の利用方法

本取扱説明書は安全な場所に保管してください。そして本エスプレッソマシンを使用される全ての方が利用できるようにしてください。

さらに詳しい情報については弊社サービスセンター (TEL :048-949-2888) にお問い合わせを下さい。後日の参照のために、本取扱説明書は大切に保管してください。



様々な種類の危険マークは誤った使用で生じる危害や損害の程度で区分し、表示をし説明しています。守ってください。

電源コードの取扱

- ・ 電源コードによるねじれ、引っかかりなどを防止するため、短い電源コードを使用しています。
- ・ 延長コードのご利用は可能ですが、ご注意の上、ご利用してください。延長コードをご使用の際は以下の事項にご注意ください。
 - a. 延長コードに記載されている定格電圧が、マシンの定格電圧より大きいものをご利用ください。
 - b. 延長コードは引っ掛けたり、子供が引っ張る危険を避けるため、カウンターやテーブルより垂らさないで下さい。
 - c. 本製品がアース付きである場合、アース付きの延長コードを使用してください。マルチソケットは使用しないでください。




- i** このマークはインフォメーションとして詳しい情報を記載しております。
最大のパフォーマンスを得るために説明をしております。

2. 注意事項

ご使用前に、この「注意事項」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
ここに示す注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や周囲の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

- 本製品のご使用前に、取扱説明書や箱の中の印刷物を必ずお読みください。
- 取扱説明書は、必要なときにいつでも見られるよう、分かりやすい場所に保管しておいてください。
- ご不明な点は、弊社の三郷センター（TEL：048-949-2888）へご連絡ください。

各絵表示は以下を示しています。

	△記号は、警告・注意を示します。 △記号の中や近くに具体的な注意内容が記載されています。
	⊘記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告



電源は「15A 125V」と記載されている壁面のコンセントから直接お取りください。またタコ足配線はしないでください。
タコ足配線部が異常発熱したときに火災の恐れがあります。



電源は交流100V 50/60Hzをご使用ください。
交流100V以外の電源を使用されますと火災の恐れがあります。















アース線を必ず確実に取り付けてください。
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。



濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。また差し込む時は根元までしっかりと差し込み、抜く時は電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って、抜いてください。
感電やショート、発煙、発火、またケガをする恐れがあります。

警告

-  差し込みプラグにほこりが付着している場合は、よく拭き取ってください。火災の原因となります。
-  電源プラグ、コードを破損するようなことはしないでください。火気の近くでは使用しないでください。 変異・故障の原因となります。
-  電源コードに重いものを乗せたり、挟み込んだり、加工したり、また無理に曲げたり、引っ張ったり、束ねたりなど、傷つけないようにしてください。コードが破損をし、感電や火災の原因となります。
-  電源コード、プラグ、マシン本体などを水につけたり、水をかけたりしないでください。 ショート・漏電の恐れがあります。
-  電源コードや、差込プラグが痛んだり、コンセントの差込がゆるい時は、使用しないでください。 ショート・漏電の恐れがあります。
-  使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電、漏電火災の原因となります。
-  独自の改造や分解は絶対にしないでください。また製品のカバーを取り外したり、中のパーツに触れないでください。火災・感電・ケガの原因となります。
-  お子様だけで使用したり、幼児の手の届くところで使用しないでください。ヤケド、ケガの原因となります。
-  本製品を使用中は、手や電気コードがコーヒー抽出口やスチームノズル、カップウォーマー等、熱を帯びる部分に触れないでください。ヤケドや破損の原因となります。
-  バナレロ（スチーム・給湯ノズル）を使用中は、ノズルから非常に高温の蒸気や熱湯が噴出しますので、噴出口に手や顔を近づけたり、触れないでください。ヤケドや破損の原因となります。
-  製造元が推奨するもの以外の付属機器のご使用は、決してしないでください。火災、感電、障害の危険を及ぼす可能性があります。
-  本製品を本来の使用目的以外には、使用しないでください。火災、故障の原因となります。

2.1 仕様

仕様	
電圧	100V 50/60HZ
消費電力	1200W
本体材料	ABS—熱塑性プラスチック
サイズ(幅×奥行き×高さ)	336×450×380
重量	15kg
電源コードの長さ	1.2m
水タンク容量	2.2ℓ/取り外し可能
コーヒーカス受け容量	19杯
コントロールパネル	機械正面(上部)
騒音レベル	70dB以下
ポンプ圧	15MPA(15.0bar)
動作条件	温度10°C以上 温度40°C以下 湿度95%以下
安全装置	ボイラー安全弁 2重安全サーモスタット

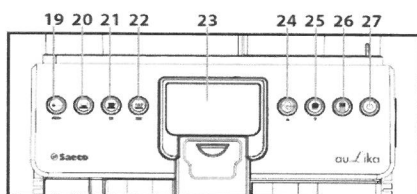
改良の為、仕様及び性能の一部を予告なく変更することがあります
あらかじめご了承ください

2.2 危険性

コーヒー抽出口及びスチームノズルには、直接手などを触れないでください。
火傷の可能性があります。

2.3 コントロールパネルの説明

i 以下に説明するいくつかのボタンは2つの機能を持ちます。
1つの機能はメニュー選択ボタン、2番目の機能はプログラム時(マシン設定時)に使用します。



操作パネル

各メニューボタン	
19	粉コーヒーボタン 粉コーヒーを使用するときに使用します。
20	エスプレッソボタン エスプレッソ抽出用のボタンとなります。
21	コーヒーボタン コーヒー抽出用のボタンとなります。 2番目の機能:プログラム中の"OK"ボタンとして使用。
22	スペシャル・ベバレッジボタン 以下の別メニューにアクセス出来ます。 ①給湯 ②ロングコーヒー③ホットミルク ④アメリカンコーヒー ⑤スチーム機能(オプション設定) 2番目の機能:ESCボタン、プログラムメニューから抜ける場合。 又は抽出をストップしたい場合に押下。
23	LCDディスプレイ マシンの状況やアラーム表示、又はプログラム時の操作ガイドなどを示します。
24	クリーンボタン このボタンを押すとカプチナトーレの簡易洗浄サイクルを実行します。 2番目の機能:▲(上矢印キー) プログラム操作などでディスプレイの画面を下画面にスクロールする際に使用します。
25	カプチーノ(Cappuccino)ボタン カプチーノ抽出用のボタンとなります。 2番目の機能:▼(下矢印キー) プログラム操作などでディスプレイの画面を上画面にスクロールする際に使用します。
26	ラテマキアート(Latte Macchiato)ボタン ラテマキアート抽出用のボタンとなります。
27	スタンバイボタン このボタンを押すとスタンバイモードが働き、マシンは節電モードとなります。

3 ご使用前に

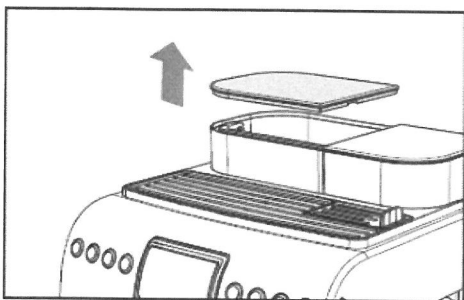
マシンをスタートさせる前に、水タンク、豆ホッパーが満たされているか、あるいはマシンがクリーニングされているか点検を行って下さい。

3.1 水タンクへ水の補給

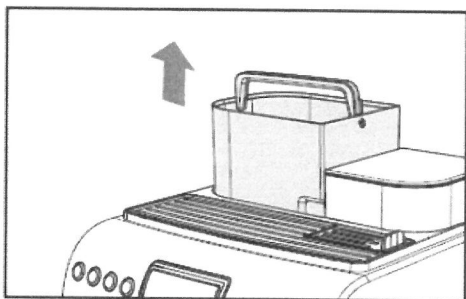
ご使用前には必ず水タンクに新鮮な飲料水を満タンに補給して下さい。

⚠ 注意: マシンを初めて使用する場合あるいは長期間使用しなかった場合は、水タンクの洗浄を行って下さい。お湯や炭酸水、他の液体の使用は故障の原因となりますので絶対におやめ下さい。このような場合は、保障期間中であっても保障対象外となります。

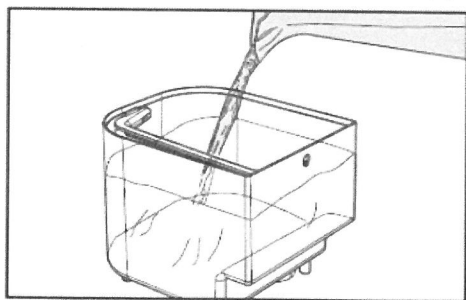
- 1 水タンク蓋を取り外して下さい。



- 2 水タンクのハンドルを使用し水タンクを取り外します。



- 3 新鮮な水をMAXの位置まで補充します。

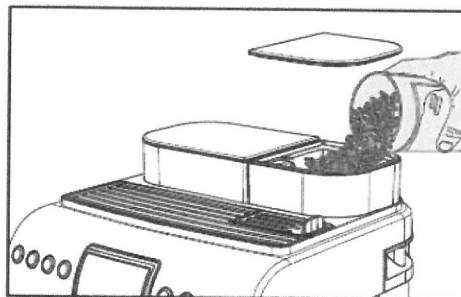


- 4 水タンクをマシンに戻し蓋を取り付けます。

3.2 コーヒー豆の補充

⚠ 初めて使用する際は、豆容器(豆ホッパー)を柔らかい布等で清掃して下さい。ローストされた豆以外、パウダーコーヒー(挽き豆)、インスタントコーヒー、フレーバーコーヒー等の使用は故障の原因となりますので、絶対におやめ下さい。このような場合は、保障期間中であっても保障対象外となります。

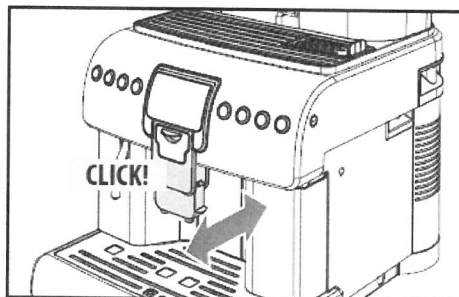
- 1 コーヒー豆容器の蓋を取り外しコーヒー豆を補給して下さい。



- 2 コーヒー豆容器蓋を取り付けます。

3.3 マシンの電源を入れる

⚠ 注意: コーヒーマシン専用の電源を確保して下さい。マシンの電源を入れる前に正しく電源プラグがコンセントにセットされているか確認して下さい。



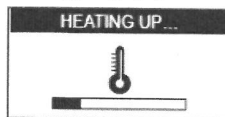
i コーヒー抽出口が正しい位置にないとコーヒーが漏れる場合があります。抽出口は前後しますので抽出口を手前側に引き、カチッと音がし停止する位置にセットして下さい。

- 1 マシン背面のメインスイッチをONに("I"側)にします。(2ページ図02参照)
- 2 電源投入後マシンはスタンバイモードに入り "⏻" ボタン(27)が点滅します。
- 3 "⏻" ボタン(27)を押下して下さい。マシンの電源が入ります。

i マシンのウォームアップが完了すると、マシンはリンス作業を実行します。この際、少量の水がコーヒー抽出口から排出されます。

3.4 ウォームアップとリンス作業

- 1 ウォームアップが完了するとマシンはリンス作業を行います。



ウォームアップ中



リンス作業中

- 2 リンス作業中はコーヒー抽出口から少量の水が排出されます。



リンス作業は ボタン(22)を押下する事により中止する事が出来ます。

3 以下の表示になればマシンは使用可能を示します。



3.5 リンス/セルフクリーニングサイクル

以下の条件の場合、マシンは内部の水回路の洗浄を行います。(リンス作業と同じ工程を実施します)

- ・ マシンを起動した場合でボイラーが冷えている場合。
- ・ 水回路の充填を行った場合でボイラーが冷えていた場合。
- ・ スタンバイモードより復帰した場合で、スタンバイモードになる以前にコーヒー抽出をしていた場合。

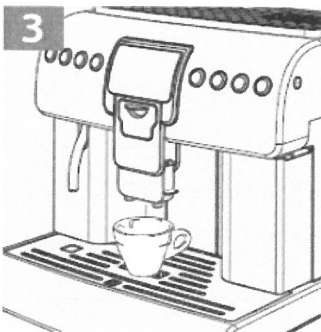
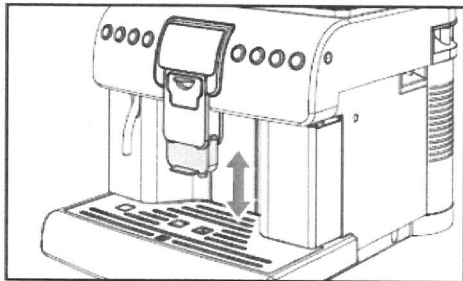
3.6 エコフレンドリースタンバイ(節電機能)

何も使用しない場合、マシンは自動でスタンバイモードになります。

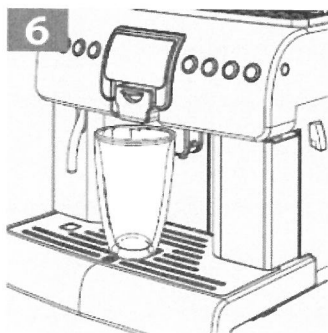
復帰させたい場合、 ボタン(22)を押下します。

3.7 抽出口高さの調整

抽出口は下図のように高さを上下に調整出来ます。



高さの低いカップは上図3のようにセット出来ます。
高さの高いカップは上図5のようにセット出来ます。



ラージカップの場合、抽出口を取り外すか、奥に押し込んでセットする事が可能です。

3.8 コーヒーの抽出

- ・ エスプレッソ : ボタン(20)を押下します。
- ・ コーヒー : ボタン(21)を押下します。

各ボタンを2回押下すると2杯分のコーヒーが抽出されます。

i コーヒー抽出は設定量に達すると自動で停止します。又、任意の量で止めたい場合 ボタン(22)を押下する事により停止出来ます。

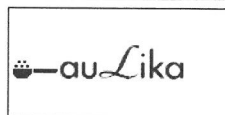
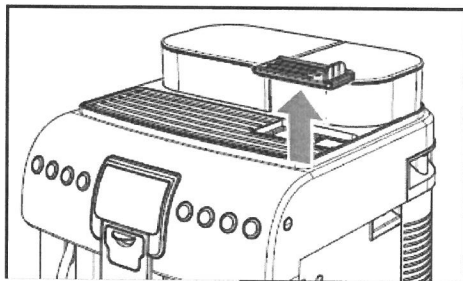
3.8.1 粉コーヒーの抽出

i 粉コーヒーをマシンに投入するには、付属のメジャースプーンを使用します。

! 粉コーヒーを投入出来るのは約6g~9g/回です。目安として付属のメジャースプーンのすり切り一杯が最大値となります。これを超えて投入するとコーヒー抽出は行わずエラーとなります。

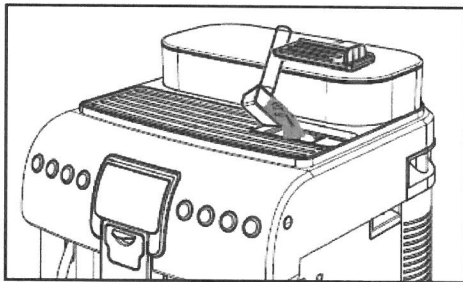
! 粉コーヒーはエスプレッソマシン用に挽いたものを使用して下さい。インスタントコーヒーや他のパウダーなどは使用出来ません。このような使用で故障した場合保障期間であっても保障対象にはなりません。

1 粉コーヒー投入口の蓋を取り外し ボタン(19)を押下して下さい。



上記の表示は粉コーヒーモードである事を示します。

2 付属のメジャースプーンを使用して粉コーヒー投入口より粉コーヒーを投入します。



3 以下の操作をし、コーヒーを抽出します。

- ・ エスプレッソ : ボタン(20)を押下します。
- ・ コーヒー : ボタン(21)を押下します。

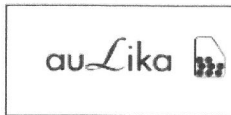
4 ボタン(21)押下して下さい。コーヒー抽出がスタートします。

i 10秒間何も操作しないとマシンは通常の豆を使用したモードに戻ります。その際ディスプレイには マークが表示されます。

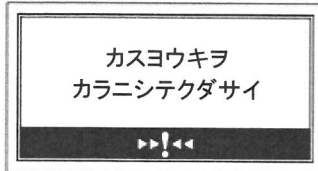
3.9 コーヒーカスを捨てる

i この操作は必ずマシンの電源が入った状態で行ってください。

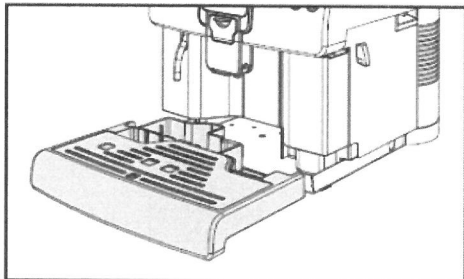
コーヒーカスが一杯になる手前に以下のアラームが表示されます。



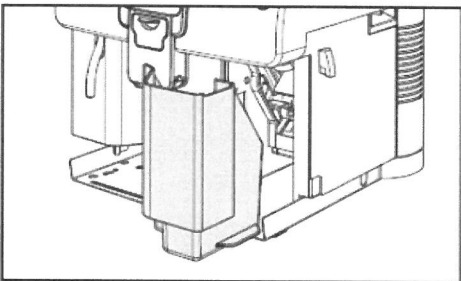
更にコーヒー抽出を続けると以下の警告に切り替わりコーヒー抽出は出来なくなります。



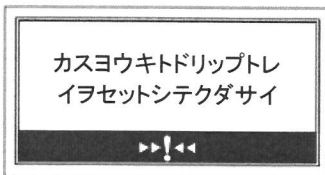
1 ドリップトレイを取り外します。



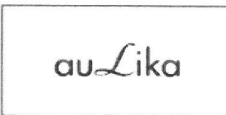
2 カス容器を取り外しコーヒーカスを捨てます。



3 以下の表示が出るまでお待ちください。



4 カス容器とドリップトレイをセットして下さい。セットが完了すれば通常画面に変わります。



上記の表示でコーヒー抽出が可能です。

3.10 カプチーノの抽出

特徴: ワンタッチボタン押下でカプチーノの抽出が可能です。

! カプチナーレから高温の蒸気もしくはお湯がでます。取り扱いには手などを近付けず、十分に注意して下さい。

i カプチーノの抽出毎にカプチナーレのクリーニングを実施して下さい。カプチーノ抽出後10分経過するとクリーニングを促すメッセージが表示されます。

1 カプチナーレカバーを取り外します。(3ページ、図8)

i カプチナーレカバーはマグネットが取り付けられています。マシンサイドカバーに取り付けが可能です。

2 カプチナーレを取り付けます。(ページ3 図9~15を参照)

! 注意: カプチーノ機能を使用する前にカプチナーレのクリーニングを実施して下さい。(セクション5.4参照)

3 ミルクチューブをミルクに挿入して下さい。

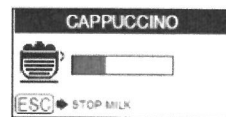
i 必ず良く冷えたミルクを使用して下さい。

4 カプチナーレとコーヒー抽出口の下にカップを置いて下さい。

! ボタン(25)を押下します。

5 マシンはスチームを出す準備を行います。(プレヒート)

6 準備完了後にマシンはカプチーノの抽出作業を開始します。



7 先ずはミルクから抽出が開始されます。設定された量が抽出されますが、途中で停止したい場合 **!** ボタン(22)を押下すればミルク抽出は停止します。



8 次にコーヒーが抽出されます。設定された量が抽出されますが、途中で停止したい場合 **!** ボタン(22)を押下すればコーヒー抽出は停止します。

9 カプチーノ抽出後、カプチナーレクリーニングを実施して下さい。(セクション5.4参照)

3.11 ラテマキアート


特徴: ワンタッチボタン押下でラテマキアートの抽出が可能です。


! カプチナーレから高温の蒸気もしくはお湯がでます。取り扱いには手などを近付けず十分に注意して下さい。

i マキアートの抽出毎にカプチナーレのクリーニングを実施して下さい。マキアート抽出後10分経過するとクリーニングを促すメッセージが表示されます。

1 ラテマキアートに使用するカップはトルガラスの使用が一般的です。(3ページ図13参照)

コーヒー抽出口は奥側に移動させる事によってトルガラスをコーヒー抽出口下に置くことが出来ます。


2 「」 ボタン(26)を押下するとラテマキアートの抽出が始まります。

i ミルクもしくはコーヒー抽出を途中で停止したい場合「」 ボタン(22)を押下すれば抽出は停止します。

3 マキアート抽出後、カプチナトーレクリーニングを実施して下さい。(セクション5.4参照)

3.12 SPECIALインリョウ

本マシンは操作パネルのドリンクボタンとは別に他のドリンクメニューが用意されています。

1 「」 ボタン(22)を押下します。



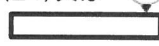
i 何も操作されなかった場合、10秒経過すると元の状態に戻ります。


SPECIAL インリョウ
オユ
アメリカンコーヒー
ホット ミルク
アメリカン コーヒー

i スチーム機能を表示させるには別途設定が必要となります。プログラム設定の項を参照して下さい。

2 ディスプレイは上記の内容を表示します。

i SPECIALインリョウは2杯取りは出来ません。

3 「」 ボタン(24)又は「」 ボタン(25)を押下しメニューを選択します。  カーソルが上下に移動します。

4 メニュー選択が完了したら「」 ボタン(21)を押下します。選択したメニューの抽出が始まります。

お湯を抽出する場合

! お湯を抽出する場合、給湯口及びワンド(ノズル)が非常に高温になります。火傷などの危険があります。十分に注意が必要です。

ホットミルクを抽出する場合

! カプチナトーレから高温の蒸気もしくはお湯がでます。取り扱いには手などを近付けず、十分に注意して下さい。

i ホットミルク抽出毎にカプチナトーレのクリーニングを実施して下さい。抽出後10分経経過するとクリーニングを促すメッセージが表示されます。セクション5.4のクリーニングを実施して下さい。

スチームを出す場合

! スチームを出す場合、給湯口及びワンド(ノズル)が非常に高温になります。火傷などの危険があります。十分に注意が必要です。

5. クリーニングとメンテナンス

マシンは常に水のカルキ成分及びコーヒー油分に触れています。これらの経時的汚れをクリーニング、メンテナンスを行うのは非常に重要です。

定期的なクリーニングを怠るとマシンの不具合に繋がります。これが原因で不具合が起きた場合、保障対象にはなりません。

! マシンのクリーニングを行う際は、必ず電源プラグより電源を抜き、マシンが冷えている状態で行って下さい。

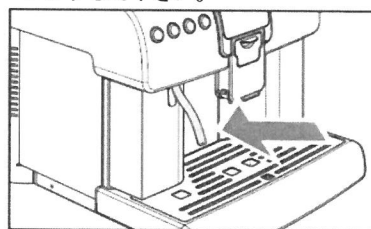
取り外し不可能な部品もきれいに掃除をして下さい。特に本マニュアルで指定されていない箇所は柔らかい布などで清掃して下さい。

- ・ クリーニングはマシンが冷えていて、電源コードを抜いている状態で行って下さい。
 - ・ 水等液体はかけないで下さい。
 - ・ マシンを水に浸さないでください、または部品のいずれも食器洗浄機などは使用しないでください。
 - ・ 化学溶剤は使用禁止です。
 - ・ 定期的なメンテナンスとクリーニングは長期間マシンの状態を保ち基本的な衛生を確保します。
- !** どのような場合でも、マシンとその部品は毎週、クリーニングが実施されるべきです。

5.1 給湯口/スチームワンド(ノズル)のクリーニング

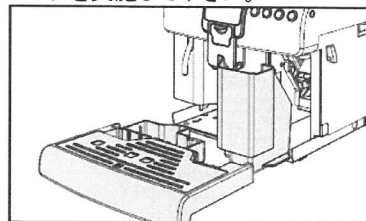
! このクリーニングをする際は、ワンド(ノズル)が冷えている状態で行って下さい。火傷の危険があります。

- ・ 以下に示すワンド(ノズル)を柔らかい布などでクリーニングして下さい。



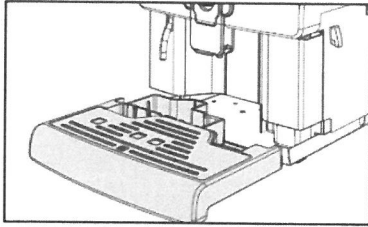
5.2 カス容器のクリーニング

カス容器内のコーヒーカスを捨て、カス容器のクリーニングを実施して下さい。



5.3 ドリフトレイのクリーニング

ドリフトレイのフロートが浮いた状態はトレイ内は排水が満水です。ドリフトレイを引き出し、クリーニングをして下さい。又、トレイは毎日洗浄して下さい。



5.4 カプチナトーレのクリーニング

! カプチナトーレを使用後は洗浄を行って下さい。バクテリア等の雑菌の繁殖を引き起こす事があります。

カプチナトーレは使用後毎回洗浄して下さい。洗浄不足は正しい操作に影響を与える可能性があります。

! 注意: カプチナトーレより蒸気が噴射されます。火傷には十分注意が必要です。

クイッククリーニングの実施

準備: 100CC程の容器2個

- 1 カプチナトーレ及び各部品が確実に本体に装着されている事を確認して下さい。(3ページ、図10参照)
- 2 容器に100CC程度の新鮮な水を入れミルクチューブを入れて下さい。(3ページ、図11参照)
- 3 カプチナトーレの下に容器を置いて下さい。(3ページ図12参照)
- 4 **CLEAN** ボタン(24)を押下、ディスプレイに以下の表示がされます。

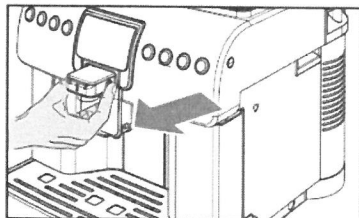


- 5 **START** ボタン(21)を押下して下さい。クリーニングサイクルが開始されます。

i 途中でクリーニングサイクルを停止したい場合、**STOP** ボタン(22)を押下すると停止します。

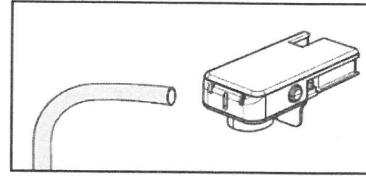
カプチナトーレの洗浄

- 6 上記の手順終了後にカプチナトーレを取り外し洗浄を行って下さい。(一日の終了時)

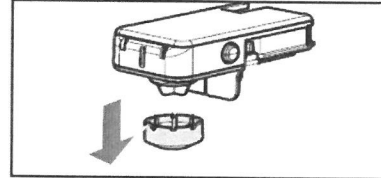


両再度のボタンを押して取り外します

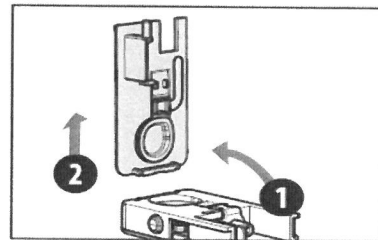
- 7 サクションチューブ(ミルクチューブ)を以下のように取り外します。



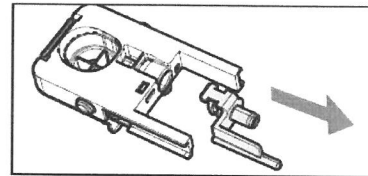
- 8 リングを取り外します。



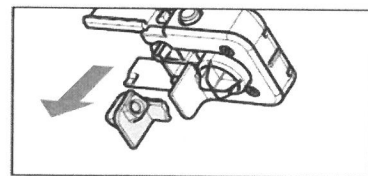
- 9 ①上カバーを持ち上げ②上カバーを取り外して下さい。



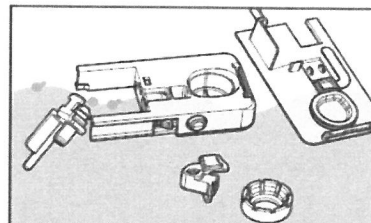
- 10 下図のバルブを取り外します。



- 11 サクションチューブ(ミルクチューブ)バルブを取り外します。



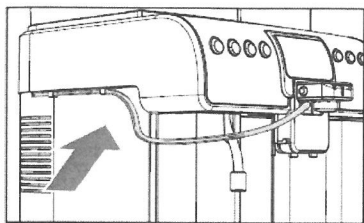
- 12 容器にMEL F1000を希釈し、全ての部品を漬けて下さい。(翌朝迄を推奨します)



- 13 浸漬した部品をよく濯ぎ取り外した逆の手順で組み立てを行って下さい。その後マシン本体にセットして下さい。



カプチナトーレを使用しない場合は、下図のようにマシン左側面にミルクチューブを収納することができます。



5.5 水タンクのクリーニング

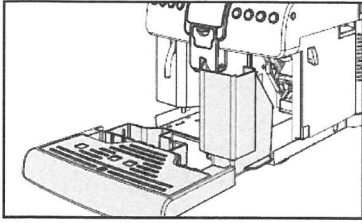
水タンクの洗浄は毎日のクリーニングを推奨します。
インテンザフィルターを取り付けている場合は、取り外し後に洗浄して下さい。

5.6 ブルーイングユニットのクリーニング

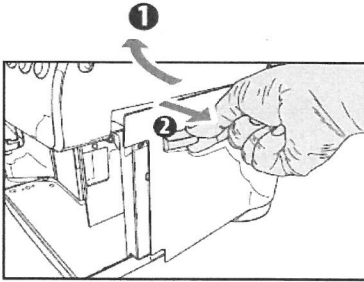
! 毎日の終了時にクリーニングを行って下さい。

1 マシンの主電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて下さい。

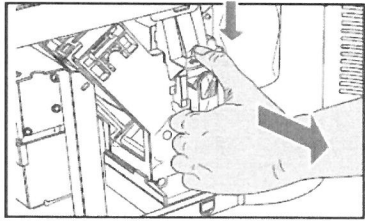
2 ドリフトレイとカス容器を取り外して下さい。



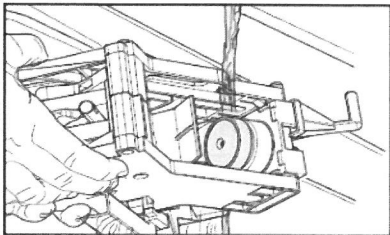
3 サービスドア右をドアのノブを用いて開いて下さい。



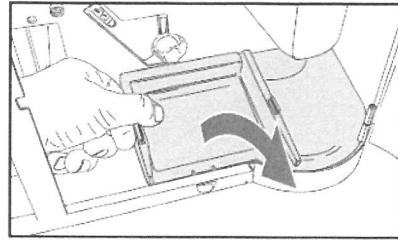
4 ブルーイングユニットを取り外す：
ブルーイングユニットのハンドルを持ち"PRESS"ボタンを下に押します。次にユニットを手前側に引き出せばユニットは取り外すことができます。



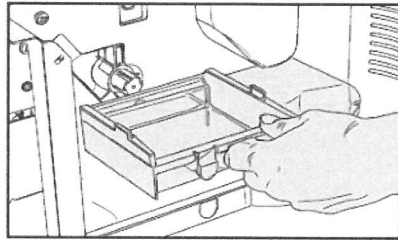
5 ブルーイングユニットの洗浄はお湯は使わないで下さい。内部に塗布されたグリスが流れ落ちる可能性があります。図のとおりユニットに付着したコーヒー粉を流水で流して下さい。可能な限りユニットに付着したコーヒー粉を落として下さい。ユニットは十分乾燥してからマシンにセットして下さい。



6 粉受け皿を下図の手順で(持ち上げながら)取り外します。



7 粉受け皿を洗浄し逆の手順でマシンに戻して下さい。



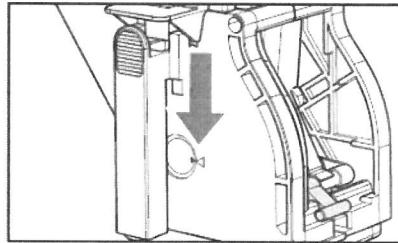
8 ブルーイングユニットをセットする前に下図で示す合いマーク(▶ ◀)が向き合っている事を確認して下さい。

この位置が正常でないとセットは出来ません。

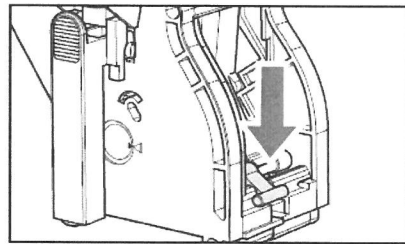
合いマークが正しい位置に無い場合、以下手順

9

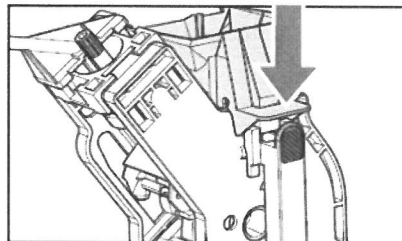
に進んで下さい。



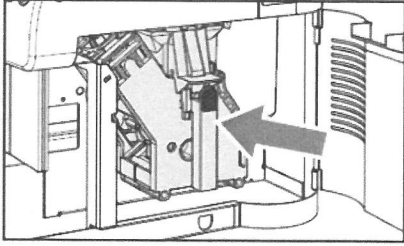
9 合いマークが正しい位置にない場合、以下のレバーを下側に押し込みレバーを下げて下さい。



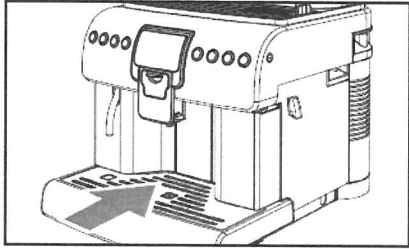
10 次にブルーイングユニットの"PRESS"部分を下側に押して下さい。ロック位置になります。



- 11** ブルーイングユニットをマシン本体にセットして下さい。
この際"PRESS"は押下しないで下さい。
セット後、ハンドルを持って確実に本体にロックされている事を確認して下さい。

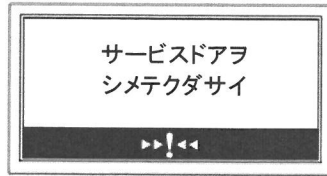


- 12** 本体右サービースドアーを閉じれば完了です。

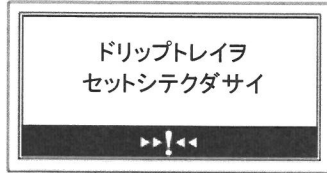


ヘルプメッセージ

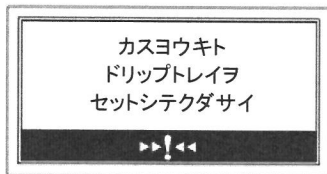
リセット方法



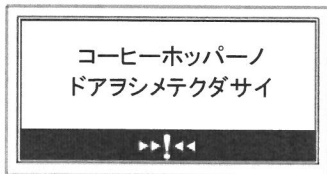
マシン右のサービスドアが正しく閉じられていない
サービスドアを正しく閉じて下さい。



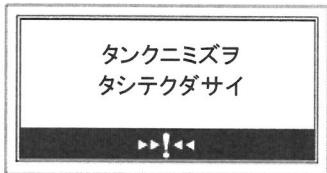
ドリフトレイを正しくセットして下さい



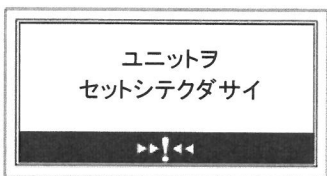
カス容器、ドリフトレイを正しくセットして下さい



豆容器蓋が正しくセットされていません。
豆容器蓋を正しくセットして下さい



水タンク内の水がなくなりました。水をMAX位置まで補充して下さい。

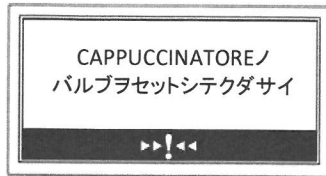


ブルーイングユニットが正しくセットされていません。
ブルーイングユニットを正しくセットして下さい。



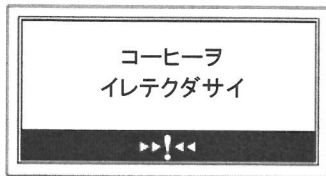
カプチナトーレがセットされていません。
カプチナトーレをセットして下さい。

ヘルプメッセージ

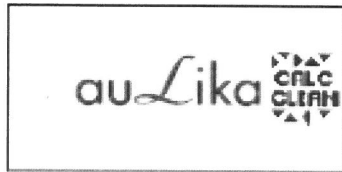


カプチナトーレ内部のバルブがセットされていません。

セクション5.4を参照し、バルブをセットして下さい。
(カプチナトーレ クリーニングの項)



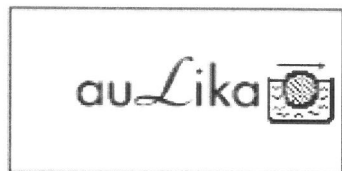
コーヒー豆がなくなりました。コーヒー豆を補充して下さい。



除石灰時期に到達しました。

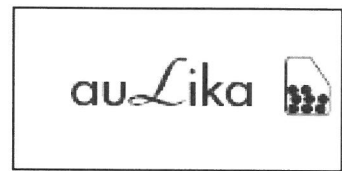
このメッセージが表示されても使用は出来ますが、このまま使用を続けると支障が発生する可能性があります。早い時期に除石灰作業を実施して下さい。

この状態でトラブルが発生すると保障期間中であっても保障対象外となります。予めご了承ください。



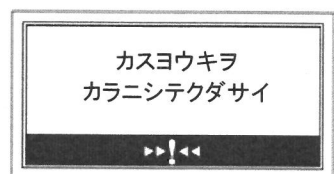
INTENZA(インテンザ)浄水フィルターの交換時期に達しました。

新しいINTENZAと取替えを実施して下さい。



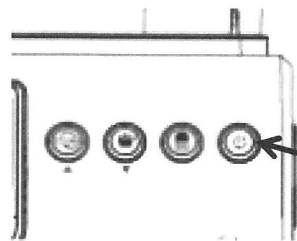
後数杯でカス容器が満杯になります。

電源が入った状態でカスを捨てて下さい。



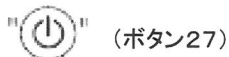
コーヒーカスが満杯になりました。カス容器を取り外しコーヒーカスを捨てて下さい。

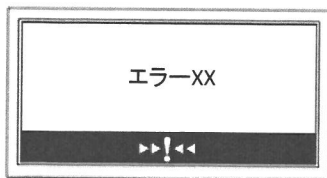
カス容器を再セットする際は、5秒以上待ってから実施して下さい。



電源ボタン(27)のランプが点滅している。

マシンはスタンバイモード(節電モード)です。電源ボタンを押下して下さい。

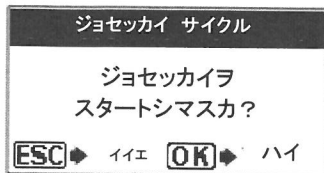




日本語表示あり


この表示が出ましたら一旦主電源を切り(OFFにする)30秒経過後に電源をONにしてください。

これで改善されない場合、ディスプレイに2桁の数字が表示されていますのでエラー番号をお求めの販売店或いは弊社サービスセンターにご連絡をお願い致します。



この画面が表示された場合、YESボタン(21)を押下すると除石灰が開かされてしまいます。

速やかに除石灰作業を行ってください。除石灰には専用の除石灰剤MEL-F 2000をご使用下さい。

 除石灰作業を行わずにマシンにダメージが発生した場合、保証期間内であっても保障対象にはなりません。予めご承知下さい。



左: 1000ml
右: 180ml

7.1 設置に関して

- !** 屋外でのマシンの設置はお止め下さい。又、高温多湿、設置場所近くに食器洗浄機など高温の温水が発生する場所の設置も避けて下さい。
- 干渉を生成する電気機械類や電波を発生する機械類の磁場はマシンの電子制御を誤動作させる可能性があります。設置時に確認して下さい。

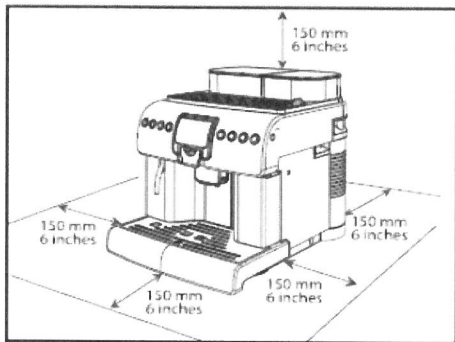
およそ0°Cの温度環境では、水回路を含む内部の部品は凍結し故障の原因となります。これらの条件下でマシンを使用しないでください。

マシンの動作を確実にする為、以下の条件、環境にてご使用下さい。

- ・室温：10°C～40°C以内
- ・湿度：90%以下
- ・設置面は、最大2°の勾配で、平らで且つ安定している設置場所
- ・設置場所は、適切に明るく、通気と衛生的な場所。電源プラグは容易にアクセスしやすい

! コンセントは必ず誰もが分かる位置にある事を確認して下さい。必要があればいつでも電源コードを抜き差し出来る位置に設置して下さい

以下のイラストは設置に適したスペースになります。



マシンの開梱に際して

- ①開梱前に製品の箱に傷やへこみが無いことを確認して下さい。
- ②開梱し、各付属品が正しく同梱されているか確認して下さい。リストは前頁に記載されてます。
- ③保証書の確認 … 販売店の押印、日付など

7.2 梱包物の廃棄

地域の行政が定める条例に基づいて梱包物を廃棄して下さい。尚、可能であれば後々のメンテナンスの際に利用出来るように保管頂く事を推奨致します。

7.3 水タンクへ水の補給

電源を入れる前に水を水タンクのMAX表示の位置まで入れて下さい。使用する水は必ず新鮮な水を使用下さい。お湯や炭酸水、他の液体の使用は故障の原因となりますので絶対におやめ下さい。このような場合は、保障期間中であっても保障対象外となります。

! 初めてマシンを使用する際は、水タンクの洗浄をお願いします。

7.4 コーヒー豆の補充

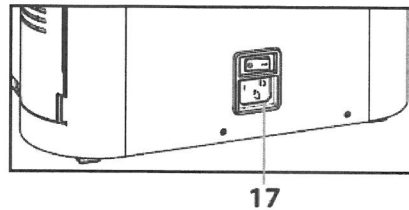
電源を入れる前にコーヒー豆を豆容器に補充して下さい。

! 初めて使用する際は、豆容器(豆ホッパー)を柔らかい布等で清掃して下さい。ローストされた豆以外、パウダーコーヒー(挽き豆)、インスタントコーヒー、フレーバーコーヒー等の使用は故障の原因となりますので、絶対におや

め下さい。
このような場合は、保障期間中であっても保障対象外となります。

7.5 電源コードの接続

付属の電源コードを以下に示す17番に確実に取り付けて下さい。場所はマシンの裏面にあります。



7.6 初めてのご使用又は長期間の未使用時

美味しいコーヒーを淹れるためにコーヒー回路のリンスが必要となります。以下の手順で実施して下さい。

- 1 コーヒー抽出口にカップなどを置いて下さい。
- 2 水タンクを洗浄し、新鮮な水を補給して下さい。
- 3 粉コーヒーボタン(19)を押下し、 コーヒーボタン(21)を押下して下さい。
- 4 OKボタン(21)を押下して下さい。コーヒー回路に圧力のかかったお湯が流れ、コーヒー抽出口からお湯が抽出されます。
- 5 上記の操作を3回繰り返して下さい。
マシンのコーヒー回路は洗浄され使用可能となります。

7.7 INTENZA(浄水フィルター)の取付

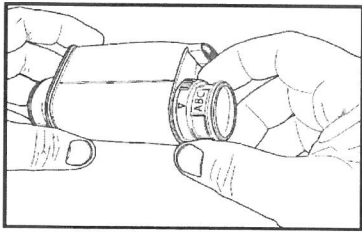
水質は良いエスプレッソコーヒーのための重要な要素です。香りの高いコーヒーを淹れる為にこの浄水フィルターは適しています。すべてのSaecoマシンはINTENZA浄水フィルターを備える事が出来、香り高いコーヒーを淹れる事が出来る理由の1つです。このフィルターは取付が簡単で、メーカーのブリタ社の高度な技術がスケール浸漬を効果的に防ぎました水は高い芳香をコーヒーにもたらしめます。

! マシンがインテンザの交換時期を示します。その際は、必ず交換して下さい。

i 水の高度の測定と設定は、INTENZAフィルターの交換時期と除石灰時期の頻度を管理する上で非常に重要です。
水の硬度測定は、8.11の項を参照して下さい。

1 初めにINTENZAを箱から取り出し、試験紙を使用して水の硬度測定を行います。

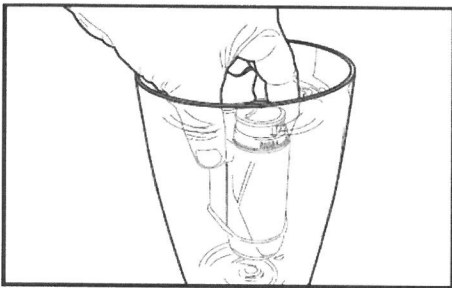
2 測定した数値に沿ってINTENZAフィルターのダイヤルを回転させて△の位置にA, B又はCに合わせセットして下さい。数値とA, B, Cの値は下記を参照して下さい。



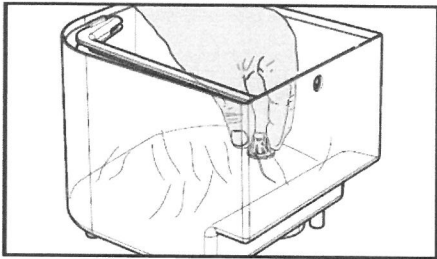
HARDNESS 4(ハード) ... A
HARDNESS 3(ミディアム) ... A
HARDNESS 2(ソフト) ... B
HARDNESS 1(超ソフト) ... C

※試験紙が無い場合、硬度Bにセットして下さい。
(初期設定値になります)

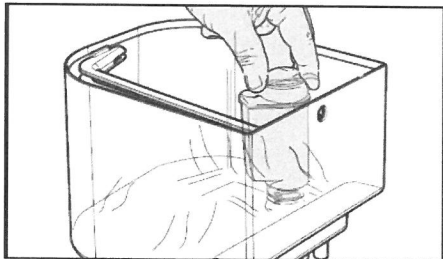
3 垂直方向にINTENZAフィルターを冷水に浸してください。そして、気泡を外に出すためにデリケートにINTENZAの側面を水中で押してください。




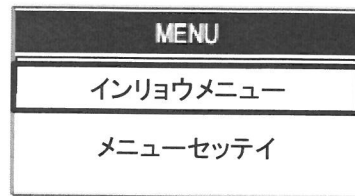
4 マシンから水タンクを取り外し水が入っている場合は、捨てて下さい。次に、水タンク内底の白色のフィルターを取り外して下さい。(手で簡単に外れます)




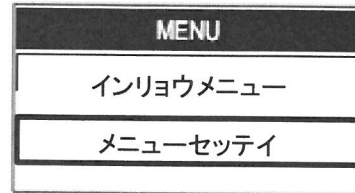
5 INTENZAを取り付けタンクに水を淹れます。




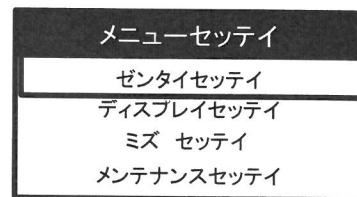
6  ボタン(19)を5秒以上長押しして下さい。ディスプレイは以下の表示に切り替ります。




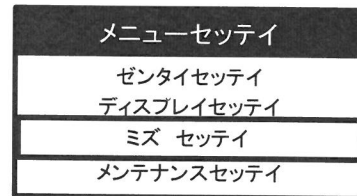
7  ボタン(25)を押下し"メニューセッテイ"表示を選択して下さい。






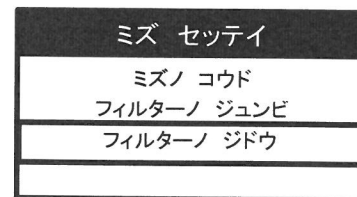
8  ボタン(21)を押下して下さい。ディスプレイは以下の表示に切り替ります。




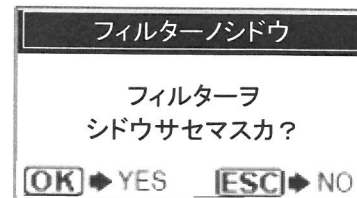
9  ボタン(25)を押下し"ミズノセッテイ"を選択して下さい。



10  ボタン(21)を押下し次に  ボタン(25)を押下して"フィルターノジドウ"を選択し  ボタン(21)を押下して下さい。

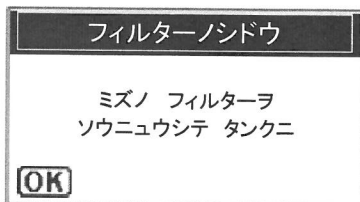


11  ボタン(21)を押下します。

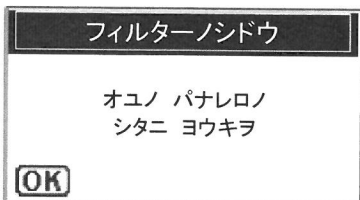


- 12 給湯ノズルの下に容器を置いて下さい。
※300ml以上の容量の容器が必要です。

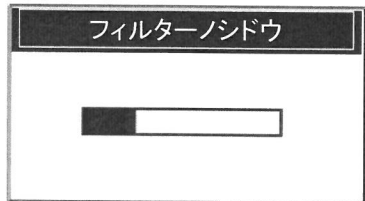
- 13 水タンクに水が入っている事を確認し、OKボタン
"OK" (21)を押下して下さい。



- 14 "OK" ボタン(21)を押下する前に給湯ノズルの下に容器を置いている事を確認して下さい。



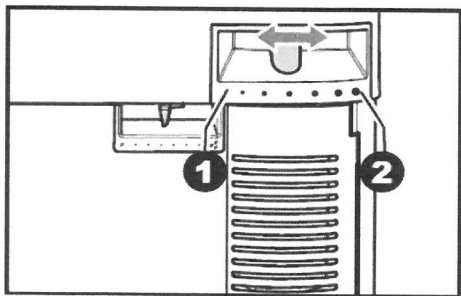
給湯ノズルからお湯が出て規定量になると自動で給湯は停止し、マシンも停止し使用可能になります。



7.8 グRAINダーの調整

! コーヒー豆容器にはロースト(焙煎)された豆以外は入れないで下さい。
フレーバーコーヒー、挽いたコーヒーパウダーインスタントコーヒー、生豆も禁止です。故障の原因となります。

コーヒーの挽き粗さを調整するにはマシン右側面のレバーを操作し調整します。

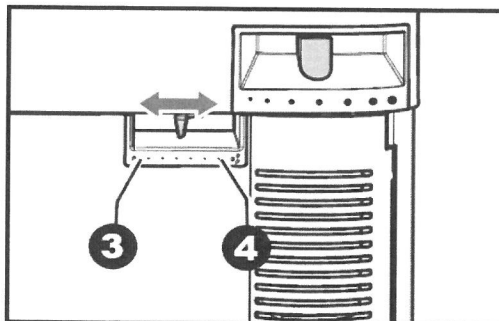


1 の方向 ... 挽きが細くなります。

2 の方向 ... 挽きが荒くなります。

! 調整レバーは、必ずGRANDERが動作している間に行ってください。故障の原因となります。
又、味は3杯抽出後に確認して下さい。調整後すぐは味の変化が確認出来ません。

7.9 コーヒー粉量の調整



コーヒー一杯当たりのコーヒー粉量の調整が可能です。

マシン右側のレバーを操作して調整します。

3 の方向 ... 最少約7グラム
4 の方向 ... 最大約11グラム

7.10 コーヒー量の調整

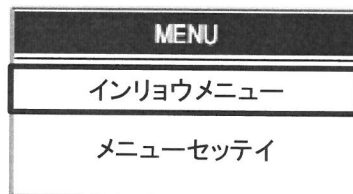
メモ コーヒー量目の調整は2つの方法があります。

1. 設定(プログラム)による調整。
2. 目視による調整。

7.10.1 設定でのコーヒー量目と各調整

- 1 プログラムモードに入ります。

"MENU" ボタン(21)を5秒以上長押しして下さい。
画面は以下の表示中になります。



- 2 次に"OK" ボタンを押下して下さい。
これから例としてカプチーノの設定方法を記載します。



- 3 "OK" ボタン(25)を押しカーソル(枠)をCAPPUCCINOの位置にして下さい。(下記参照)



次に"OK" ボタン(21)を押下して下さい。
ディスプレイは次の項目を表示します。

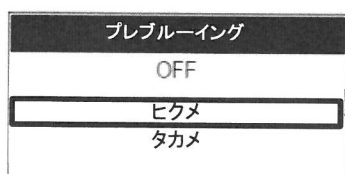
- 4** ディスプレイは以下の表示となり各項目の調整が出来ます。



調整出来るのは

1. プレブルレーイング(蒸し)の有り無、OFF設定
2. コーヒーの温度・・・ヒクメ、フツウ、タカメ
3. カップに入るコーヒー量(量目)
4. カップに入るミルクの量(量目)

- 5** プレブルレーイング

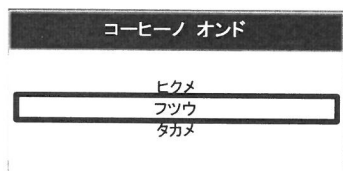


上記 **4** の画面でカーソルがプレブルレーイングの位置にある事を確認し、"**OK**" ボタン(21)を押下して下さい。画面は上記のようになります。

次に設定したい項目にカーソルを "**OK**" ボタン(25)もしくは "**ESC**" ボタン(24)で移動します。

"**OK**" ボタン(21)を押下し、設定を変更します。画面は **4** に戻ります。

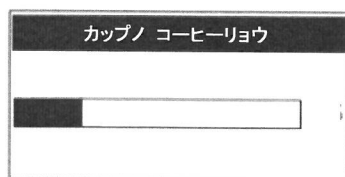
- 6** コーヒーの温度調整



コーヒーノオンドを選択すると上記の表示となります。設定方法は **5** で説明した方法と同様に選択したい箇所にカーソルを移動し、"**OK**" ボタン(21)を押下し設定を変更して下さい。

- 7** コーヒー量の調整

" **4** " の画面でカップノ コーヒーリョウを選択します。そうすると画面は以下の表示となります。

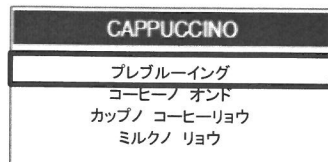


インジケーターが表示されます。

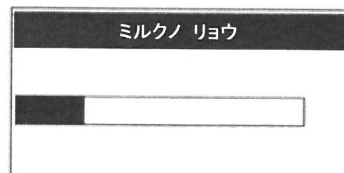
"**OK**" ボタン(25)押下でコーヒー量が少なくなり "**ESC**" ボタン(24)でコーヒー量が増加します。後は実際のコーヒー量を確認して下さい。

画面を終了するには "**ESC**" ボタン(22)を4回押下すれば初期画面に戻ります。

- 8** ミルク量の設定



カプチーノ画面でカーソルを"ミルクノ リョウ"に移動させて下さい。カーソルの移動方法は前述の説明のとおりです。次に "**OK**" ボタン(21)を押下し以下の画面にして下さい。



上記の画面で調整します。

調整キーを押下する事によりインジケーターが変化します。

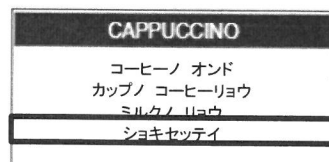
"**OK**" ボタン(25)押下でミルク量が少なくなり "**ESC**" ボタン(24)でミルク量が増加します。

後は実際のミルク量を確認して下さい。

画面を終了するには "**ESC**" ボタン(22)を4回押下すれば初期画面に戻ります。



シヨキセツテイを選択すると全てのデータが出荷時のデータにリセットされます。

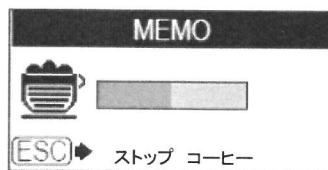


7.10.2 目視でのコーヒー量目と各調整

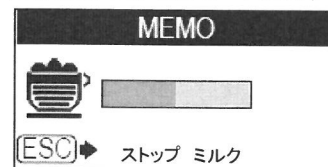
ここでもカプチーノの設定方法を説明します。

- 1** コーヒーカップをコーヒー抽出口下に置きます。カプチナーレをマシンにセットし、ミルクチューブをミルクにセットして下さい。


- 2** "**OK**" ボタン(25)・・・カプチーノボタンを長押しして下さい。(画面にMEMO表示が現れるまで手を離さないで下さい)






この表示になるとプログラムモードに入りました





次に表示がミルク設定画面に切り替わりミルク抽出が開始されます。

3 カップのミルク量が適切になった時点でストップキー
 ボタン(22)を押下しミルク抽出を停止させます。






 この時点でミルク量を記憶致しました。

4 次にコーヒー抽出が始まります。適量になった時点で
 ボタン(22)を押下しコーヒー抽出を停止させて
 下  さい。

 これでカプチーノの設定は完了です。次回から 
 ボタン(カプチーノ)は同量の抽出を致します。

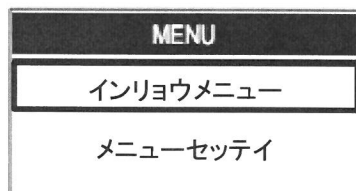
7.11 プログラミング

各メニュー設定やプログラム、メンテナンス設定をする際、以下の表を参照して下さい。

各プログラム用のメニューボタン	
19	 粉コーヒーボタン プログラムモードに入る時に5秒以上長押しをします。
21	 コーヒーボタン プログラム中の”OK”ボタンとして使用。
22	 スペシャル・ベバレッジボタン ESCボタン、プログラムメニューから抜ける場合。 又は抽出をストップしたい場合に押下。
24	 クリーンボタン ▲(上矢印キー) プログラム操作などでディスプレイの画面やカーソルを 上画面にスクロールする際に使用します。
25	 カプチーノ(Cappuccino)ボタン ▼(下矢印キー) プログラム操作などでディスプレイの画面やカーソルを 下画面にスクロールする際に使用します。

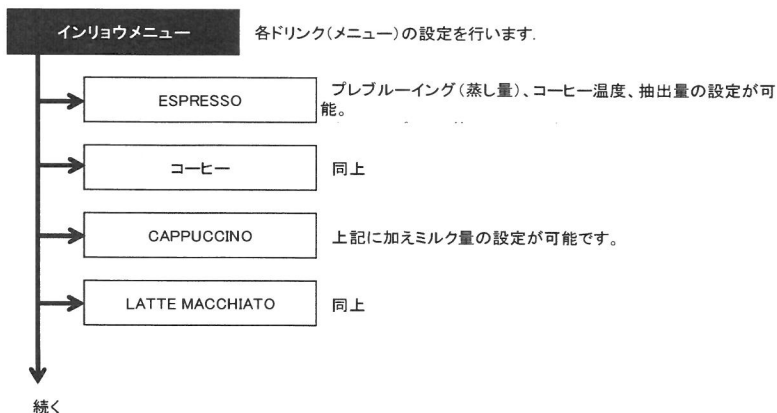
1 プログラムに入る際は、まず最初に  ボタン(19)を5秒以上長押しをして下さい。

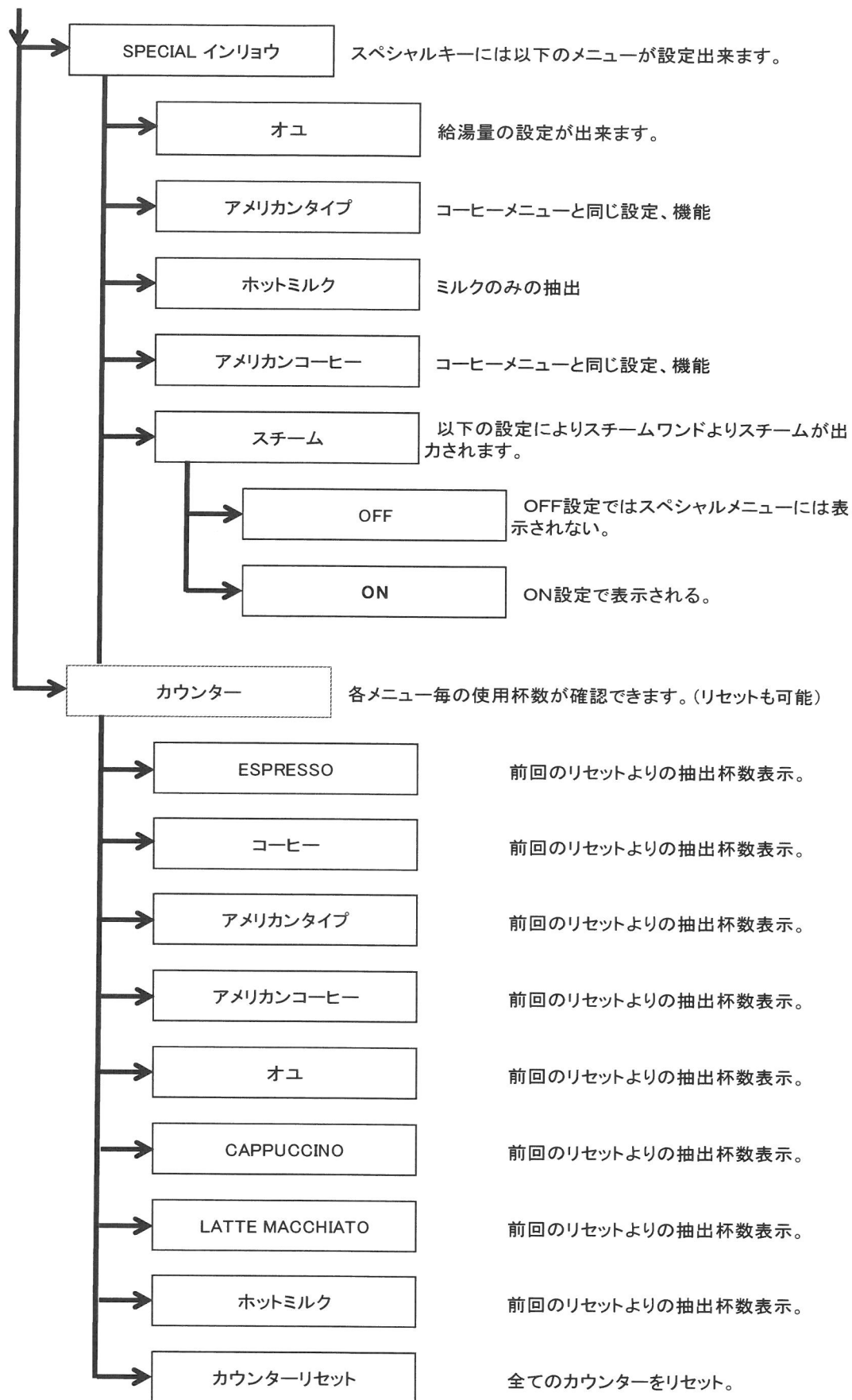
初期メニュー画面は以下が表示されます。



全てのプログラムはここから開始致します。

7.12 ピバレッジメニュー





ビバレッジ・パラメーター

このセクションは各種ビバレッジメニュー内(2~3ページ)での設定可能なパラメーターを説明致します。

プレブルーイング

機能:蒸らし量の設定。
OFF :蒸らし機能なし。
LOW :蒸らし機能がON。
HIGH:蒸らし量が多くなります。

コーヒーノオンド

機能:コーヒー温度の調整が可能。
LOW :より低い温度で抽出されます。
NORMAL:通常設定。
HIGH :より高い温度で抽出されます。

コーヒーノリョウ

機能:コーヒー抽出量の設定が出来ます。



表示される画面

ミルクノリョウ

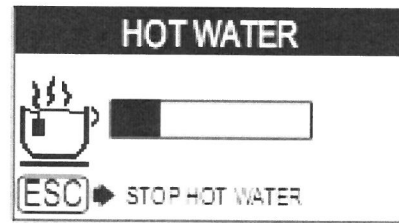
機能:各ミルクメニューのミルク量の設定が出来ます。



表示される画面

オユノリョウ

機能:湯量の設定が出来ます。



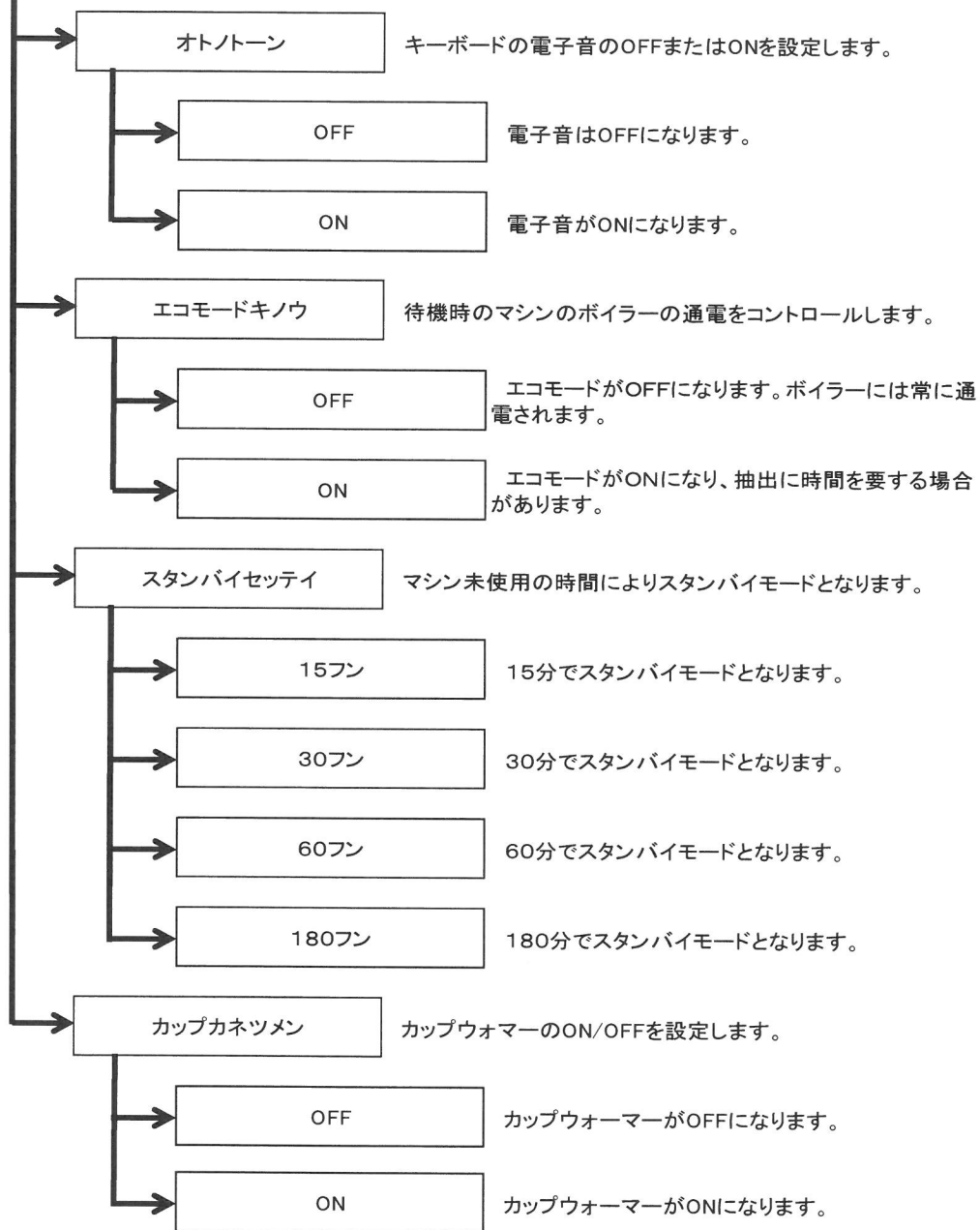
表示される画面

シヨキセツテイ

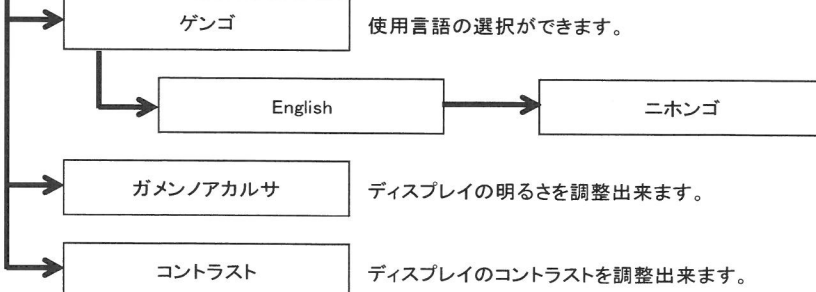
機能:全ての設定が出荷時の工場設定に初期化されます。

ゼンタイセッテイ

マシンの全体的な設定を行う項です。



ディスプレイセッテイ



ミズノセッテイ

ミズノコード

水の硬度を設定します。これにより除石灰警告までの期間が異なります。

※出荷時設定は1です。

水の硬度の設定値	除石灰までの水量	浄水フィルター取付
1	240リットル	480リットル
2	120リットル	240リットル
3	60リットル	120リットル
4	30リットル	60リットル

フィルターノジュンビ

OFF

ON

フィルターノシドウ

フィルターノシドウ

フィルターヲ
シドウサセマスカ?

ESC ↗ NO OK ↘ YES

フィルターの新規取付、交換時に“YES”を選択します。マシンの自動設定が開始されます。

※取扱説明書のセクション8. 10を参照して下さい。

メンテナンスセッテイ

ユニットセンジョウ

ブルーイングユニットの洗浄サイクルが開始されます。詳しくは取扱説明書のセクション10. 5を参照して下さい。

ジョセツカイサイクル

除石灰関連のメニューです。以下を参照して下さい。

ジョセツカイノカシ

除石灰を開始します。詳しくは取扱説明書のセクション10. 7を参照して下さい。

CAPPUCCINATOREノセンジョウ

この機能はミルクメニューを正しく使用する為、カプチナトーレ洗浄のクリーニングサイクルを管理致します。
※このクリーニングサイクルは、カプチナトーレの基本的な正しいメンテナンスとオペレーションの為のものです。
詳しくは取扱説明書のセクション10. 3を参照して下さい。

センジョウカシ

カプチナトーレの洗浄を開始します。

センジョウケイコク

この機能はカプチナトーレの洗浄時期になった時にディスプレイに警告を表示致します。

OFF

警告は表示されなくなります。

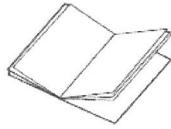
ON

クリーニングが必要になった時にディスプレイに表示されます。

8 アクセサリー関連

8.1.1 同梱品リスト

1. 本マニュアル



2. 電源コード

他の電源コードは使用しないで下さい。



3. メジャースプーン

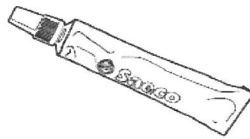
粉コーヒーを使用する際の計量スプーンです。



4. グリス

ブルーイングユニットに定期的に塗布します。

塗布の目安: 3ヶ月又は500杯毎



5. クリーニングブラシ

マシン内部やブルーイングユニットの清掃に使用します。



6. MEL-F2000(徐石灰剤) 180ml

徐石灰(カルキ取り)作業に使用します。



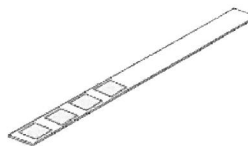
7. MEL-F1000

ミルクライン洗浄液。



10. 水の硬度測定紙

水の硬度を測定する時に使用します。



8.3.2 オプション品アクセサリ

7. インテンザ(オプション品となります)

ブリタ製浄水フィルター

※ Lirika Cappuccinoには付属

交換の目安: 3ヶ月又は60杯毎



9 クリーニングとメンテナンス

マシンは常に水のカルキ成分及びコーヒー油分に触れています。これらの経時的汚れをクリーニング、メンテナンスを行うのは非常に重要です。
定期的なクリーニングを怠るとマシンの不具合に繋がります。これが原因で不具合が起きた場合、保障対象にはなりません。

9.1 メンテナンススケジュール

メンテナンススケジュール	毎日	毎週	毎月 又は 500杯毎	警告 表示時
1 カス容器の洗浄	●			
2 ドリップトレイの洗浄				
3 水タンク洗浄	●			
4 カプチナトーレの洗浄	●		※●	
5 ブルーイングユニット				
水流での洗浄	●			
クリーニングタブレット洗浄		●		
グリスアップ			●	
6 周辺部品の洗浄	●			
7 コーヒー豆ホッパー				
8 除石灰作業				●
9 インテンザ交換(オプション)				●

※カプチナトーレの自動洗浄プログラムを用いた洗浄

上記のメンテナンススケジュールに従ってメンテナンスの実施をして下さい。

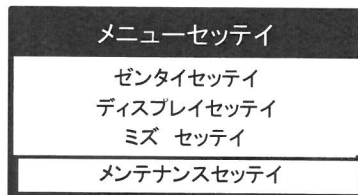
9.2 カプチナトーレの自動洗浄プログラム

カプチナトーレの自動洗浄プログラムは少なくとも月1回又は500杯毎に行って下さい。



注意: 自動洗浄中は蒸気や高温のお湯が噴射されます。火傷などしないように十分に注意して下さい。

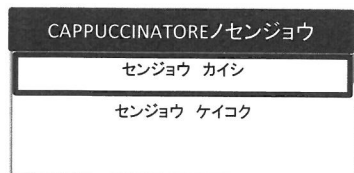
- 1 カプチナトーレが確実にセットされている事を確認して下さい。(3ページ、9及び10を参照)
- 2 プログラミングモードに入ります。(8-14.参照)
- 3 ボタン(25)を押下し、メニューセッテイ画面を選択し ボタン(21)を押下して下さい。
- 4 ボタン(25)を数回押下し、メンテナンス セッテイにカーソルを移動し ボタン(21)を押下して下さい。



- 5 ボタン(25)を数回押下してカーソルをcappuccinatoreノセンジョウへ移動し ボタン(21)を押下します。



ボタン(21)を押下して下さい。



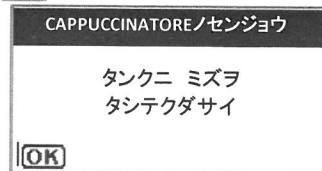
センジョウカイシにカーソルがある事を確認後、


ボタン(21)を押下して下さい。


6



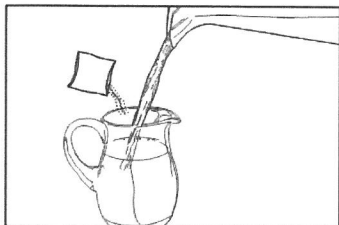
7



 ボタン(21)を押下して下さい。

水タンクに水をMAXの位置まで入れ、 ボタン(21)を押下して下さい。

8 300ml以上の容量のある容器にキャップ1杯のMEL-F1000と水を足して希釈して下さい。




左: 1000ml
右: 180ml

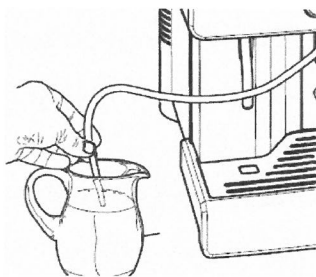
MEL-F1000


9 画面は以下を表示しています。



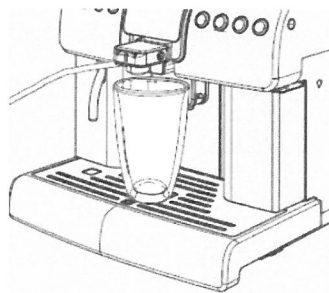
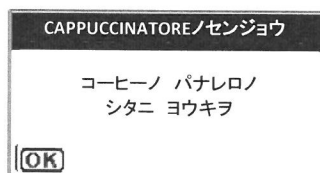
 ボタン(21)を押下して下さい。


10 画面は以下を表示します。



希釈した除石灰剤の容器にミルクチューブを差し込み  ボタン(21)を押下して下さい。

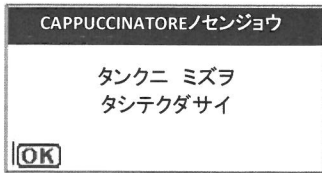
11 画面は以下に変わります。



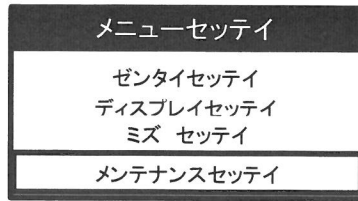
カプチナトレー下に容器(約300ml以上)を置いて下さい。  ボタン(21)を押下して下さい。

自動洗浄が開始されます。

- 12** MEL-F1000を使用した自動洗浄が終わり画面は以下の表示になり洗浄動作は一旦中断します。



水タンクの水残量を確認し、残量が少ない場合は補充し ボタン(21)を押下して下さい。



カーソルの移動が完了したら ボタン(21)を押下します。

- 13** **8** で使用した容器をよく濯ぎ、新鮮な水を入れて下さい。



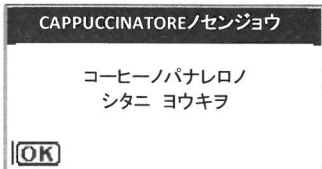
ボタン(21)を押下して下さい。

- 4** ボタン(21)を押下しメンテナンスメニューにアクセスします。以下の表示になります。



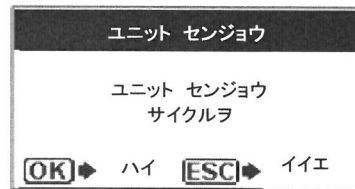
ユニットセンジョウにカーソルがある事を確認し、次に ボタン(21)を押下します。

- 14** カプチナトーレの下に容器をセットして下さい。



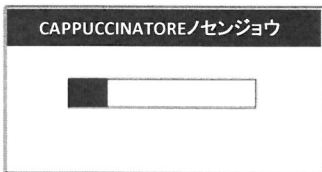
容器のセットが完了したら ボタン(21)を押下して下さい。

- 5** 洗浄開始OKかNOなのかマシンは問い合わせをします。



作業継続がOKなら ボタン(21)を押下します。

- 15** 以下のインジケーターが表示され、スズギが開始され、自動的に完了し停止します。



i 作業を中断したい場合は、 ボタン(22)を押下します。これ以降は作業の中断は出来ません。

9.3 ブルーイングユニットの自動洗浄プログラム

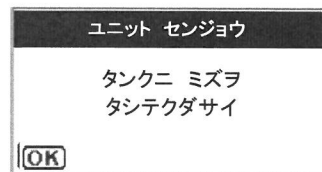
ブルーイングユニットの自動洗浄プログラムは各フィルター、内部のコーヒー回路に付着したコーヒー豆の油分や汚れを洗浄し、コーヒー本来の味や香りを損なうことなく維持出来ます。これは定期的に(毎週)行う事を推奨致します。

- 1** プログラミングモードに入ります。(8-14.参照)

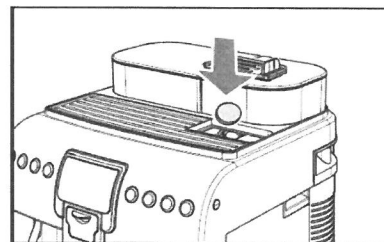
2 ボタン(25)を押下し、メニューセッテイ画面を選択し、次に ボタン(21)を押下して下さい。

3 ボタン(25)を数回押下し、メンテナンスセッテイにカーソルを移動させます。

- 6** 水タンクに水が十分(MAX) 満たされているか確認して下さい。無ければ水を補充して下さい。確認後、 ボタン(21)を押下して下さい。

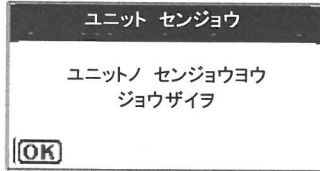


- 7** マシンにクリーニング用タブレットを投入します。(下図の蓋を取り外しタブレットを投入します)

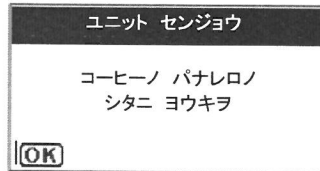


7 前項の続き

タブレットを投入したら  ボタン(21)を押下して下さい。

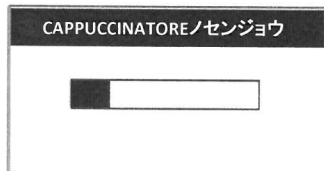


8 コーヒー抽出口の下にカップ等の容器を置いて下さい。約400mlの水が排出されます。



カップ(容器)を置いたら  ボタン(21)を押下して下さい。

9 以下の画面が表示されインジケーターに進捗が表示されます。





洗浄が完了すれば自動的に終了致します。

9.4 ブルーイングユニットのグリスアップ


ブルーイングユニットのグリスアップは500杯毎又は毎月実施して下さい。

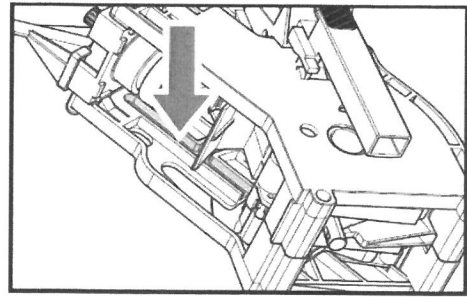
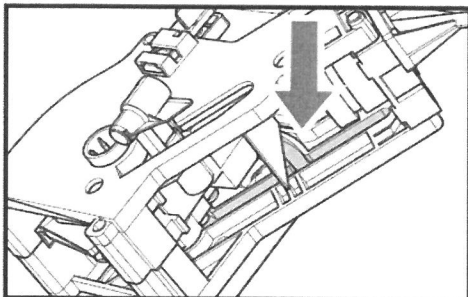
使用するグリスはマシンをお買い求めの販売店又は弊社にてご購入は可能です。又、ご購入の新品マシンには専用グリスが付属されています。

 抽出杯数を確認されたい場合、プログラムモードのカウンター機能で確認が出来ます。

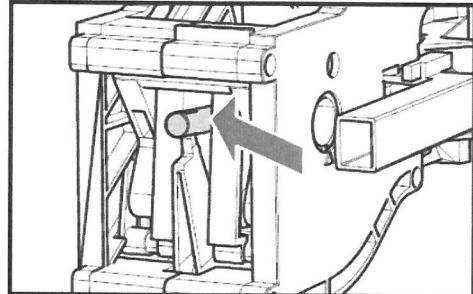
 グリスアップのまえにブルーイングユニットは必ず洗浄と乾燥を行って下さい。


1 ブルーイングユニット内側レール両サイドにグリスを塗布して下さい。

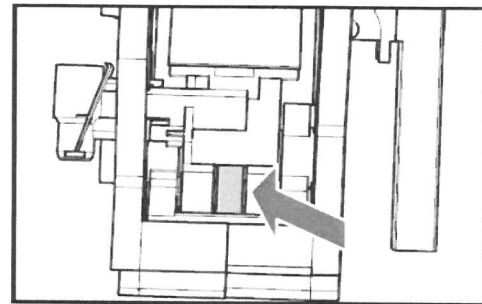
 綿棒など使用すると上手く塗布出来ます。



2 内側のピストンにグリスを塗布します。



 ピストンの奥側にグリス塗布します。塗られたグリスはピストンの上下移動で内部へ均一に塗られます。




9.5 除石灰

マシン内部に付着した石灰成分を落とすのはどのエスプレッソマシンにも共通の作業です。

マシンが除石灰作業の警告を表示した際は速やかにこの作業を実施して下さい。

除石灰作業を怠るとマシンの停止や故障の原因になります。

 保障期間であっても除石灰作業を実施していない場合は、保障対象にはなりません。

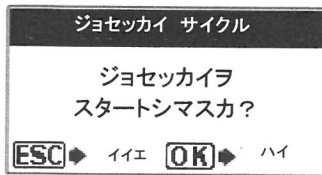
除石灰作業は必ず専用の除石灰剤 MEL-F2000を使用して下さい。

 お酢などの使用は絶対お止め下さい。

INTENZA浄水フィルターを装着している場合は、必ず取り外して下さい。

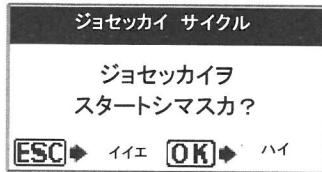
1 除石灰時期に到達すると画面は次の表示になります。

※次ページ参照



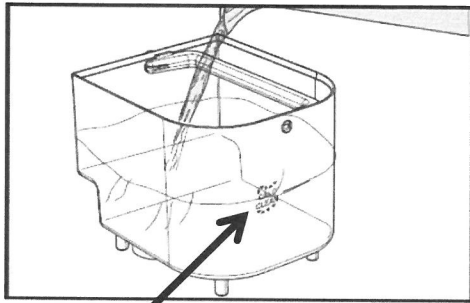
"☕" ボタン(21)を押下します。

作業を一旦キャンセルしたい場合は、"☕" ボタン(22)を押下して下さい。但し、電源を入れる毎にこの警告は表示されます。



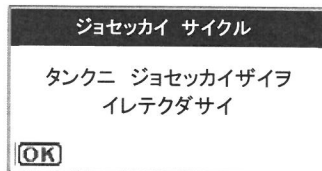
再度上記の警告が表示されます。"☕" ボタン(21)を押下して下さい。

2 除石灰剤MEL-F2000を水タンクに入れます。



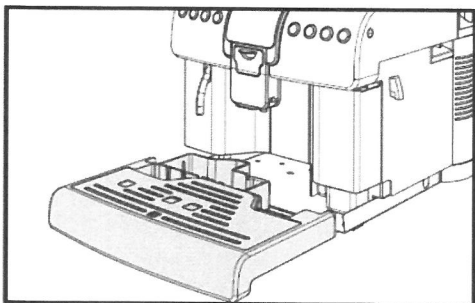
MEL-F2000 180ml 1本を水タンクに入れます。次に水を水タンクの **CALC CLEAN** 位置まで補充致します。

画面は以下の表示になっています。

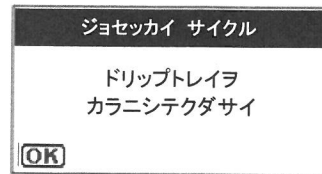


準備が完了したら "☕" ボタン(21)を押下して下さい。

3 ドリップトレイを確認します。

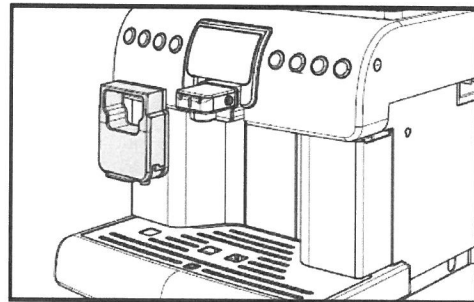


ドリップトレイ内に排水がある場合は捨てして下さい。



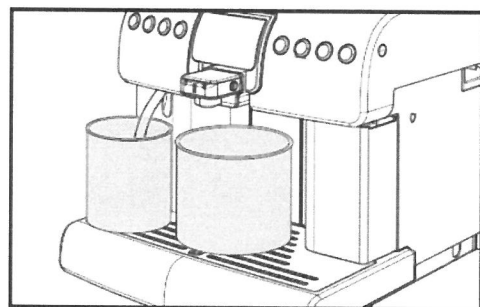
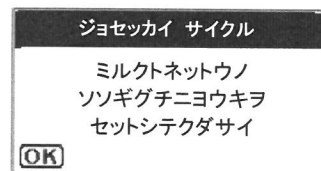
ドリフトレイの確認後、ドリフトレイをマシンにセットし "☕" ボタン(21)を押下して下さい。

4 カプチナトーレがセットされていない場合はセットして下さい。又、コーヒー抽出口を取り外して下さい。

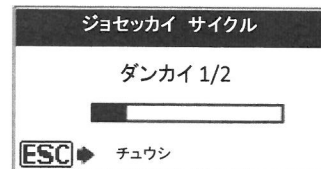


"☕" ボタン(21)を押下します。

5 給湯口とカプチナトーレ下に容器を置いて下さい。



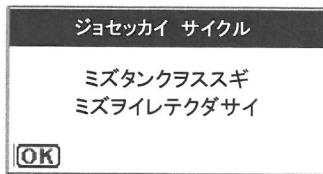
容器のセットが完了したら "☕" ボタン(21)を押下して下さい。



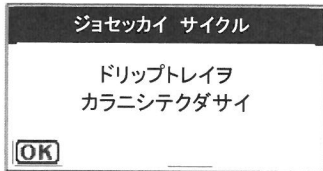
進捗をインジケーターで確認出来ます。

画面のチュウシ表示は一時中断の意味です。容器の水が一杯になった時などに使用します。


6 除石灰サイクル1/2は自動的に終了します。次に水タンクを洗浄し水タンクに新鮮な水を入れます。

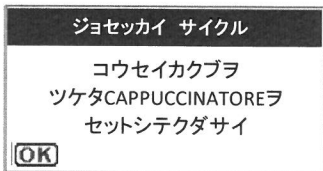


水の補充が完了したら「」ボタン(21)を押下します。




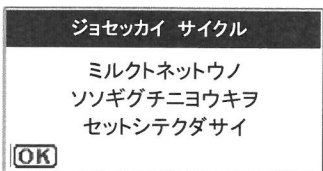
ドリフトレイに排水が溜まっていないか確認し排水がある場合は捨て、再度マシンにセットして下さい。

「」ボタン(21)を押下します。

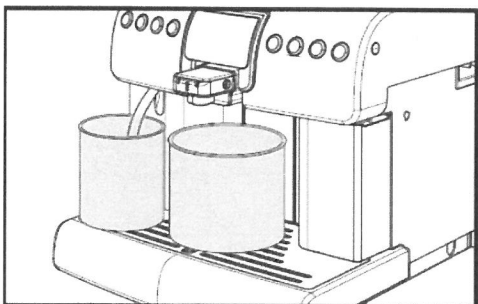



カプチナーレがセットされていない場合はセットして下さい。又、コーヒー抽出口を取り外して下さい。

「」ボタン(21)を押下します。




次に給湯口とカプチナーレ下に容器を置いて下さい。



「」ボタン(21)を押下します。

7 マシンはススギ工程に入ります。



i 水タンクの水補充量が少なかった場合、水タンクに水補充の警告が表示されます。その際、水を補充し「」ボタン(21)を押下して下さい。

8 ススギ工程が完了するとマシンは自動的に終了し初期画面へと戻ります。これにて除石灰作業は完了です。

10 マシンを廃棄する場合

マシンや梱包箱などについているシンボルマークはこの製品は家庭用廃棄物として処理出来ない事を示しています。



電気、電子器具のリサイクルの為の適切なごみ集積場に引き渡すことになります。この製品を正しく廃棄することは、不適切な廃棄処理によりもたらせる環境と人の健康に対する悪影響を防止します。

この製品に対する詳しいリサイクル情報については、地域の行政機関、ごみ処理業者、ご購入の販売店または弊社へお問い合わせをお願いします。

11 トラブルシューティング

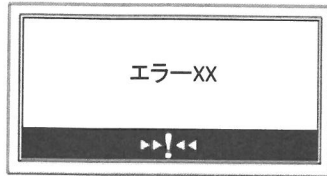
症状	原因	対処方法
電源が入らない	電源コードが正しくつながっていない マシン裏面のメインSWがONになっていない	電源コードを正しく接続して下さい マシン裏面のメインSWを”1”側にして下さい
コーヒー温度が低い	カップの温度が低い プログラムモードの設定不良	カップを十分に温めて下さい プログラムモードのインリョウメニューにて温度調整をしてください
コーヒーのクレマが薄い	豆のブレンド具合が良くない、豆が劣化している、豆の挽き具合が粗い	豆を違う種類に変えてみる(通常、ブレンド数が多いほど上質のクレマになります)、挽き粗さを細かくセットしてみる
マシンのウォームアップに時間がかかる、またはコーヒー量が少ない	マシン内に石灰成分が詰まっている	徐石灰作業を実施して下さい
ミルク抽出時、カプチナトーレから上手く出てこない。(大きな泡状になる)	ミルクチューブ又はリングが正しくセットされていない	各部品を正しくセットして下さい 
ブルーイングユニットが取り外せない	ブルーイングユニットが正しい位置にない	電源を入れなおし、サービスドアを閉める。マシンは自動的に正しい位置に戻します
	カス容器を取り外していない	カス容器(ドリフトレイ)を取り外して下さい
コーヒー豆を挽くがコーヒー抽出されない	マシン内に水が行き渡っていない	水回路の充填作業をして下さい(8.9の項参照)
	ブルーイングユニットの汚れ	ブルーイングユニットを洗浄して下さい
	コーヒー抽出口の詰まり	抽出口と抽出口穴の清掃をして下さい
コーヒーが薄い	コーヒー豆の挽きが粗い	挽き粗さ調整を細かい方向に調整して下さい
	コーヒー豆量が少ない	コーヒーグラム数を多くしてみる
コーヒー抽出速度が遅い	コーヒー豆挽き調整が細かい	コーヒー豆挽き調整を粗くする
	水回路に必要な水が充填されていない	水回路の充填作業をして下さい(8.9の項参照)
	ブルーイングユニットの汚れ	ブルーイングユニットを洗浄して下さい
コーヒー抽出口からコーヒーが漏れる	コーヒー抽出口の詰まり	抽出口と抽出口穴の清掃をして下さい
	コーヒー抽出口(ユニット)が正しくセットされていない	コーヒー抽出口を正しくセットして下さい



上記を試しても改善されない場合は、弊社サポートセンター迄お問い合わせください。

フジ産業株式会社 三郷センター TEL. 048-949-2888 FAX. 048-949-4141

11.1 トラブルシューティング マシンエラー



このエラーが出た場合、画面下にエラーコードが表示されます。
この番号のメモをお願いします。
エラーを一旦解除するには電源を切る必要があります。
以下の対処方法を参照頂き、試して下さい。改善されない場合は
弊社にご連絡をお願い致します。

フジ産業株式会社 三郷センター

TEL. 048-949-2888

FAX. 048-949-4141

エラーコード	原因	対処方法
01	コーヒーグラnderが回転しない又は動作が悪い	コーヒー豆を豆容器から取り除き、掃除機で内部を清掃。その後、コーヒー豆をセットしないでコーヒーボタンを押して見る
03	ブルーイングユニット上昇中の問題	ブルーイングユニットを洗浄する。又はブルーイングユニットの部品に欠けや破損がないか点検する グリスアップを実施 ブルーイングユニットを再セットする
04	ブルーイングユニット下昇中の問題	ブルーイングユニットを洗浄する。又はブルーイングユニットの部品に欠けや破損がないか点検する グリスアップを実施 ブルーイングユニットを再セットする
05	水回路の問題 (マシン内部への水供給と流れが悪い)	インテンザ(浄水フィルター)を装着している場合、取り外してみる コーヒー粉モードで抽出出来るか試してみる。抽出出来る場合、これを数回繰り返し作業を行って下さい
06	ミルク・フローサーバルブが動かない	徐石灰作業を行い改善されるか試してみる
07	ドーサー部の動きが悪い	電源のOFF/ONを数回試して下さい
10	コーヒーボイラーの温度異常	電源を切り、5分経過後に再度電源を入れる
11	コーヒーボイラーセンサーの異常	電源を切り、5分経過後に再度電源を入れる
12	スチームボイラーの温度異常	電源を切り、5分経過後に再度電源を入れる
13	スチームボイラーセンサーの異常	電源を切り、5分経過後に再度電源を入れる
14	コーヒーボイラーのコントロール異常	電源を切り、5分経過後に再度電源を入れる
15	スチームボイラーのコントロール異常	電源を切り、5分経過後に再度電源を入れる
16	ブルーイングユニットのコントロール異常	ブルーイングユニットを再セットしてみる
19	内部のプログラム異常	電源を切り、5分経過後に再度電源を入れる